
かつらぎ町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）別冊資料

計画策定に向けたアンケート調査結果



令和5年3月

和歌山県かつらぎ町

【目 次】

アンケート調査の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
住民アンケート結果概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
住民アンケート結果データ	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
事業所アンケート結果概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	14
事業所アンケート結果データ	・・・・・・・・・・・・・・・・	15
住民アンケート自由意見	・・・・・・・・・・・・・・・・	61
事業所アンケート自由意見	・・・・・・・・・・・・・・・・	66

(参考) 計画策定に向けたアンケート調査結果

◆アンケート調査の概要

【実施期間】

令和4年9月1日(木)～9月16日(金)

【対象者・送付件数・回答数】

- ・住民アンケート 送付件数 800 件 回答数 314 件 (回答率 39.25%)
(対象者：令和4年8月1日現在、庁内に住所を有する18歳以上の方)
- ・事業所アンケート 送付件数 545 件 回答数 152 件 (回答率 27.89%)
(対象者：町内に事業所を有する方)

【設問内容】

- ・住民アンケート . . . 関心度、情報取得方法、影響、取り組み等
- ・事業所アンケート . . . 関心度、情報取得方法、管理体制、取り組み等

◎住民アンケート結果概要

【関心度】

関心がある方の割合が約 82%、一方関心がない方の割合は約 17%となっている。

【温暖化防止に有益な取り組み】

エアコンの適正な温度設定、照明・TV 等のかまめな消灯（いずれも約 20%）が多く選択されたが、エコバッグ、ごみの減量、買い替え時の省エネ製品選択も次いで支持された。

【取り組み具合】

上記で選択した取り組み具合については、約 84%の方が一定以上に出来ていると回答

【省エネ機器類の使用】

LED 照明については約 62%、高効率給湯器が約 35%と比較的高い数値となった。

太陽光発電設備については約 12%となっている。

【省エネ機器導入への考え】

現在使用していないが、導入したいと答えた方は約 9%にとどまっており、経済的に難しいと答えた方が 50%と、導入するにあたってのハードルが高いことがうかがえる。

【町に期待する取り組み】

ごみ減量・リサイクルの推進が約 23%と最も高い支持となった。次いで、次世代自動車への買い替え補助（約 16%）、太陽光など自然エネルギーの普及促進（約 14%）が高い支持となっている。また、電気自動車の急速充電設備の充実（約 7%）については、次世代自動車保有者に限定すると実に約 88%の方が支持する結果となった。

【重点分野】

自然災害分野（約 36%）、健康分野（約 20%）、農業分野（約 16%）が大きい支持となった。

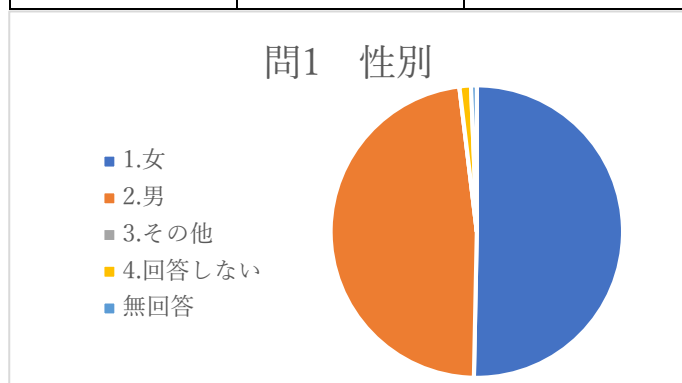
【カーボンニュートラルの認知度】

よく知っている（約 10%）、聞いたことがある（約 55%）、知らなかった（約 27%）となっており、CM 等の影響で認知度は高まっていると考えられる。

【住民アンケート結果】

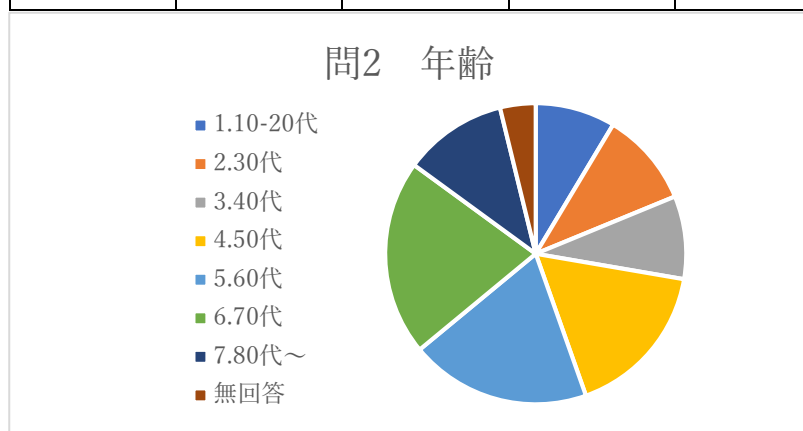
問1 あなたの性別を教えてください

1.女	2.男	3.その他	4.回答しない	無回答
158	150	0	4	2
50.3%	47.8%	0%	1.3%	0.6%



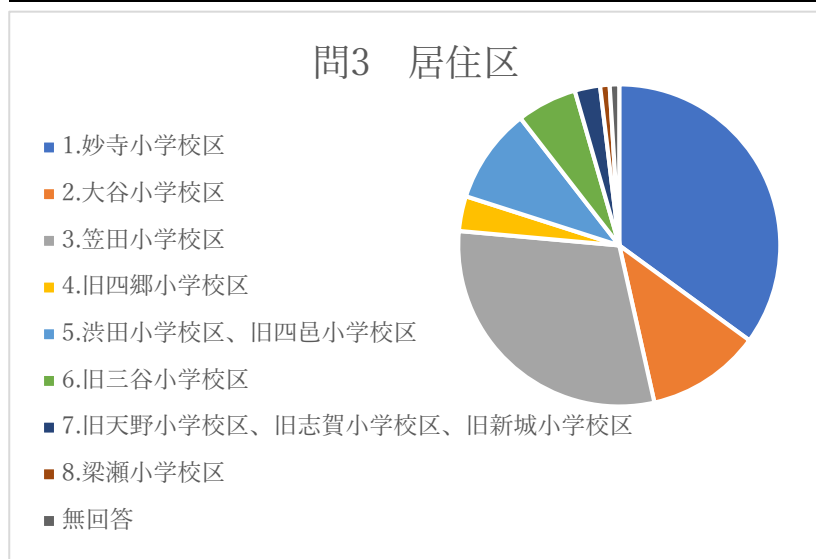
問2 あなたの年齢を教えてください

1.10-20代	2.30代	3.40代	4.50代	5.60代	6.70代	7.80代～	無回答
27	32	28	53	61	66	35	12
8.6%	10.2%	8.9%	16.9%	19.4%	21.0%	11.1%	3.8%



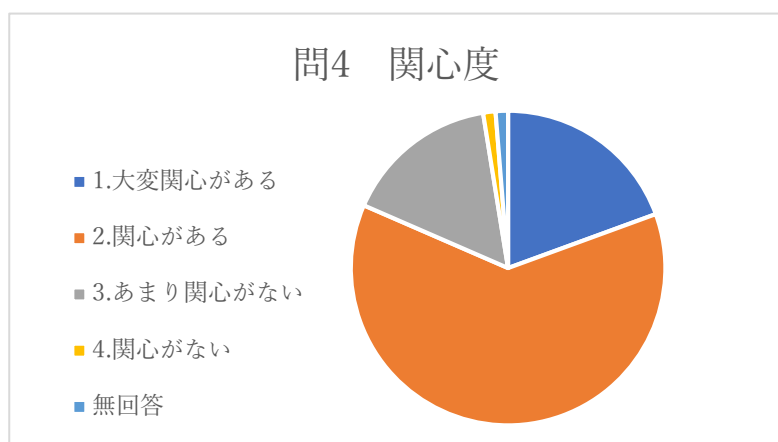
問3 あなたのお住まいはどちらになりますか

1.妙寺 小学校区	2.大谷 小学校区	3.笠田 小学校区	4.旧四郷 小学校区	5.渋田・ 旧四邑 小学校区	6.旧三谷 小学校区	7.旧天野・ 旧志賀・ 旧新城 小学校区	8.梁瀬 小学校区	無回答
110	36	94	11	30	19	8	3	3
35.0%	11.5%	30.0%	3.5%	9.6%	6.1%	2.5%	1.0%	1.0%



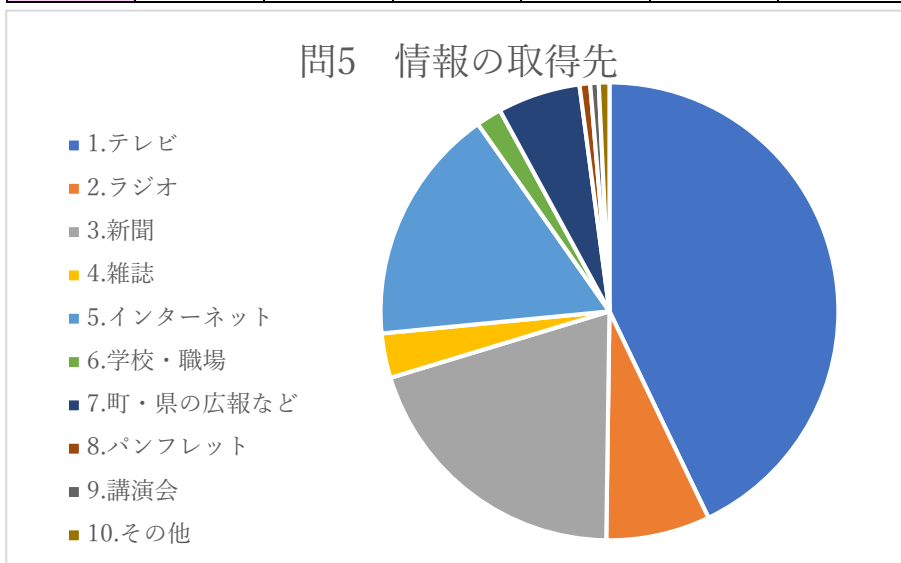
問4 地球温暖化問題への関心について次のうちからお選びください

1.大変関心がある	2.関心がある	3.あまり関心がない	4.関心がない	無回答
61	195	50	4	4
19.4%	62.1%	15.9%	1.3%	1.3%



問5 地球温暖化に関する情報を普段どうやって得ていますか。(複数回答可)

1.テレビ	2.ラジオ	3.新聞	4.雑誌	5.インターネット	6.学校・職場	7.町・県の広報など	8.パンフレット	9.講演会	10.その他
286	49	134	21	112	12	39	5	4	5
42.9%	7.3%	20.1%	3.1%	16.8%	1.8%	5.8%	0.7%	0.6%	0.7%

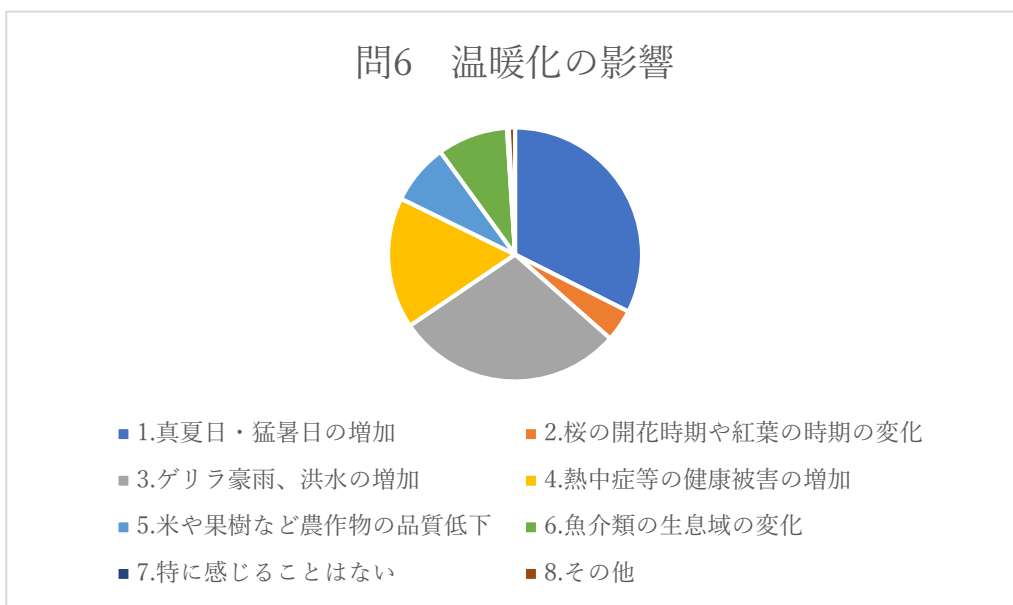


(その他)

- 日々の生活の中で
- Instagram、YouTube
- 老人クラブなど、サークルでの学習時
- 職業団体の機関誌

問6 地球温暖化の影響とあなたが思っていることを次からお選びください。(3つまで選択可)

1.真夏日・猛暑日の増加	2.桜の開花時期や紅葉の時期の変化	3.ゲリラ豪雨、洪水の増加	4.熱中症等の健康被害の増加	5.米や果樹など農作物の品質低下	6.魚介類の生息域の変化	7.特に感じることはない	8.その他
284	36	254	146	68	78	2	7
32.5%	4.1%	29.0%	16.7%	7.8%	8.9%	0.2%	0.8%



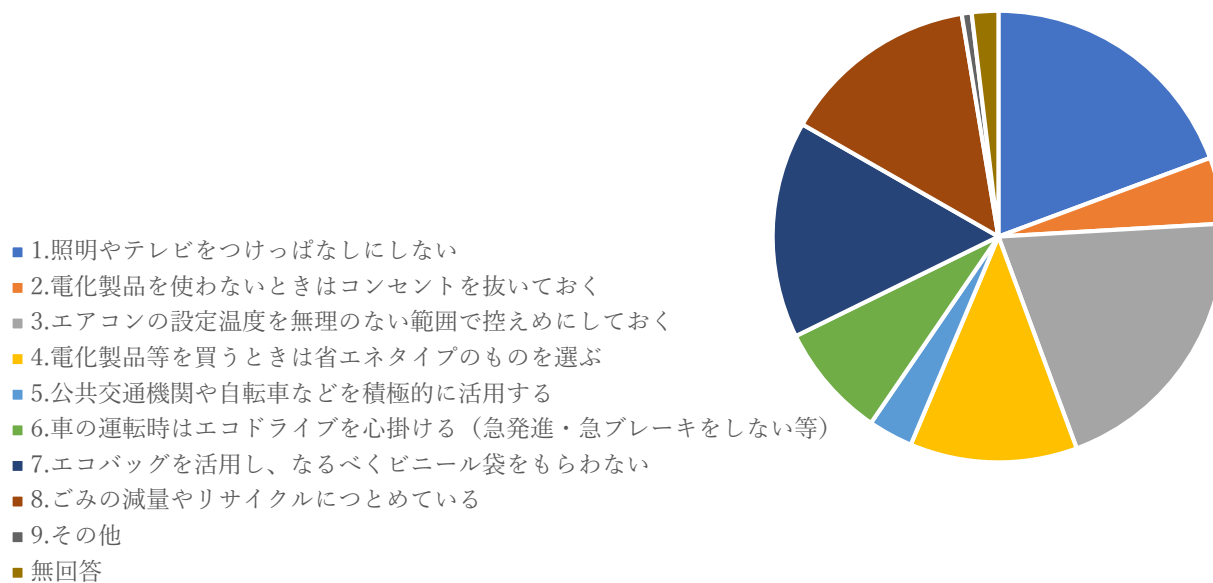
(その他)

- 水位（海）の上昇
- 氷が溶ける、気温の上昇
- 本来、雨が降る時期に干ばつが続き、晴れの多い時期に雨が続く天候不順
- 大きなつららを見なくなった。昔はいなかったヤモリがたくさんいる。
- 野生鳥獣の増加
- 海水温の上昇による台風の巨大化

問7 あなたが普段の生活の中で、地球温暖化防止に役立つと思う取り組みをお選びください（3つまで選択可）

1.照明やテレビをつけっぱなしにしない	2.電化製品を使わないときはコンセントを抜いておく	3.エアコンの設定温度を無理のない範囲で控えめにしておく	4.電化製品等を買うときは省エネタイプのものであるを選ぶ	5.公共交通機関や自転車などを積極的に活用する	6.車の運転時はエコドライブを心掛ける（急発進・急ブレーキをしない等）	7.エコバッグを活用し、なるべくビニール袋をもらわない	8.ごみの減量やリサイクルにつとめている	9.その他	無回答
163	40	171	101	27	69	131	119	6	16
19.3%	4.7%	20.3%	12.0%	3.2%	8.2%	15.5%	14.1%	0.7%	1.9%

問7 温暖化防止に役立つと思う取り組み



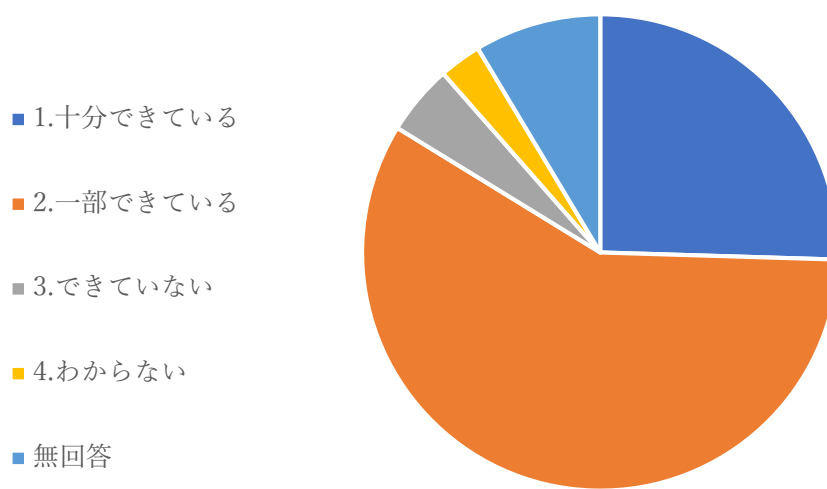
（その他）

- 気候変動は人智を超えていて、人間の力でコントロール出来るものではないと思う
- 太陽光発電、エコキュート
- 木を大切に作る
- 不要な買い物をしないために、外にできるだけ出ない
- 有機栽培

問7-2 問7で選択したことについて、十分に取り組み出来ていますか

1.十分できている	2.一部できている	3.できていない	4.わからない	無回答
80	183	15	9	27
31.8%	58.3%	4.8%	2.9%	8.6%

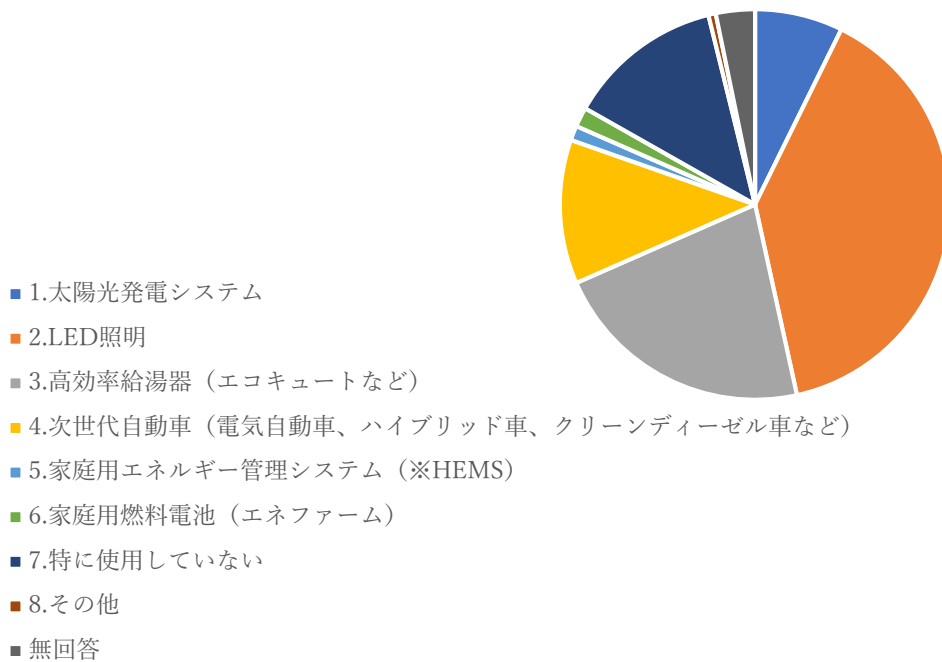
問7-2 問7で選択したことへの取り組み具合



問8 あなたのご自宅では、省エネルギーや自然エネルギーにつながる次の機器を使用していますか（複数回答可）

1.太陽光発電システム	2.LED照明	3.高効率給湯器（エコキュートなど）	4.次世代自動車（電気自動車、ハイブリッド車、クリーンディーゼル車など）	5.家庭用エネルギー管理システム（※HEMS）	6.家庭用燃料電池（エネファーム）	7.特に使用していない	8.その他	無回答
36	194	108	59	6	8	64	3	16
7.3%	39.3%	21.9%	11.9%	1.2%	1.6%	13.0%	0.6%	3.2%

問8 省エネ・自然エネにつながる機器の使用



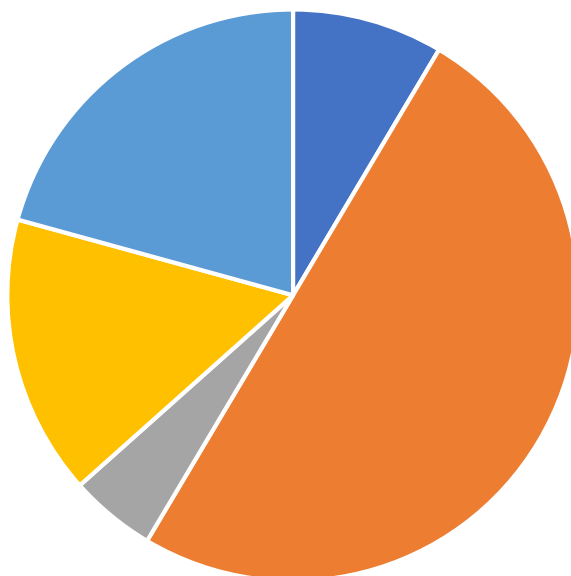
（その他）

- 生ごみコンポスト
- 太陽熱温水器、薪（風呂焚き）
- 風呂用太陽熱給湯機

問8-2 問8で「7. 特に使用していない」と答えた方におたずねします。今後、省エネルギー・自然エネルギーにつながる機器を導入するお考えはありますか。

1.導入したい	2.導入したいが経済的な負担を考えると難しい	3.導入したいとは思わない、必要性を感じない	4.わからない、考えたことがない	無回答
7	41	4	13	17
8.5%	50.0%	4.9%	15.9%	20.7%

問8-2 省エネ機器の導入意向（非使用者）

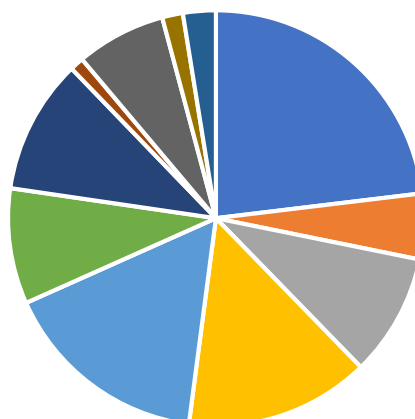


- 1.導入したい
- 2.導入したいが経済的な負担を考えると難しい
- 3.導入したいとは思わない、必要性を感じない
- 4.わからない、考えたことがない
- 無回答

問9 地球温暖化対策のために、町が取り組むとよいと考えるものについて次からお選びください。(3つまで選択可)

1.ごみ削減・リサイクルの推進	2.都市緑化の推進	3.公共交通機関網の充実	4.太陽光発電などの自然エネルギーの普及促進	5.次世代自動車への買い替えにかかる補助	6.高気密高断熱住宅の新築、改築にかかる補助	7.環境に関する教育の充実	8.カーシェアリングの普及	9.電気自動車の急速充電設備の充実	10.その他	無回答
172	38	71	107	121	67	78	8	52	12	19
23.1%	5.1%	9.5%	14.4%	16.2%	9.0%	10.5%	1.1%	7.0%	1.6%	2.6%

問9 町が取り組むとよい対策・施策



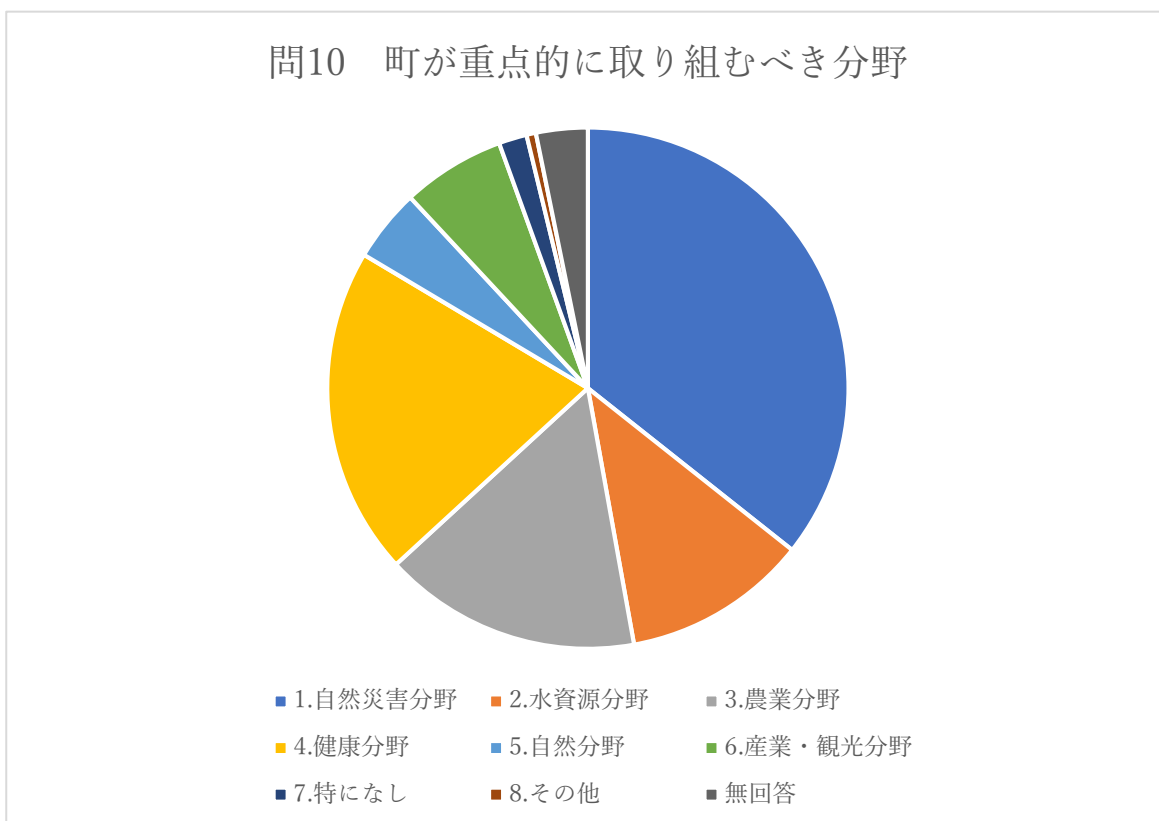
- 1.ごみ削減・リサイクルの推進
- 2.都市緑化の推進
- 3.公共交通機関網の充実
- 4.太陽光発電などの自然エネルギーの普及促進
- 5.次世代自動車への買い替えにかかる補助
- 6.高気密高断熱住宅の新築、改築にかかる補助
- 7.環境に関する教育の充実
- 8.カーシェアリングの普及
- 9.電気自動車の急速充電設備の充実
- 10.その他
- 無回答

(その他)

- ・新エネルギー技術の開発
- ・町が考え推進することを住民へ周知する
- ・山林、耕作放棄地を雑木林に戻す。間伐材を薪に。
- ・有機栽培
- ・粗悪で安価なものより、長持ちする品質・素材の製品でごみを減らす
- ・フルーツの町にちなんで、剪定廃材や間伐材を使った小規模火力発電所を複数箇所建設
- ・徳島のゼロウェイストセンターのような取り組み
- ・水素ステーションも必要
- ・服、衣類などは特に使いまわしする。すぐ処分を考えないで。
- ・先進的なエネルギー循環モデルのロールモデルになるような施策

問 10 地球温暖化防止のために、町が重点的に取り組むべきと考える分野を次からお選びください。(3つまで選択可)

1.自然災害分野	2.水資源分野	3.農業分野	4.健康分野	5.自然分野	6.産業・観光分野	7.特になし	8.その他	無回答
245	79	110	140	31	44	12	4	22
35.7%	11.5%	16.0%	20.4%	4.5%	6.4%	1.7%	0.6%	3.2%



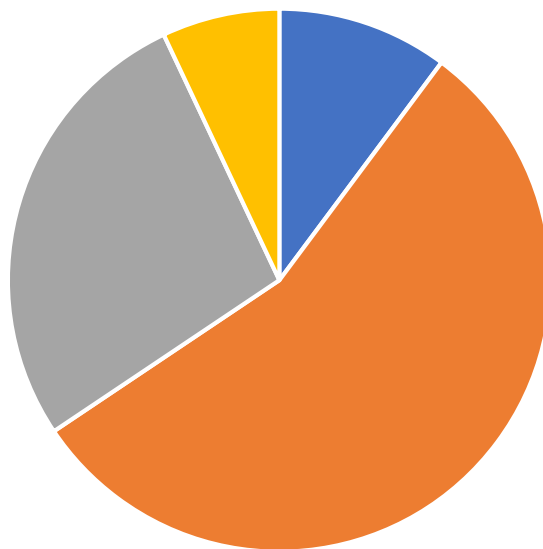
(その他)

- 有機栽培
- 再生可能エネルギーの獲得モデルを作る
- 雑木林を多く作る。どんぐり、かし、くぬぎ等の保水のできる山々を。
- 自然環境を維持している農家が世代継承や経済的に維持できる仕組み（販売経路等）を構築する

問 11 令和 2 年 10 月の臨時国会において、菅首相（当時）が「2050 年カーボンニュートラル」を所信表明されました。カーボンニュートラルについて、どの程度ご存じですか。

1.よく知っている	2.聞いたことがある	3.知らなかった	無回答
32	174	86	22
10.2%	55.4%	27.4%	7.0%

問11 カーボンニュートラルの認知度



■ 1.よく知っている ■ 2.聞いたことがある ■ 3.知らなかった ■ 無回答

◎事業所アンケート結果概要

【業種】

卸売・小売業（約 27%）、サービス業（約 18%）、製造業（約 18%）で 6 割を占める。以下、建設業（約 12%）、農林水産業（約 9%）、その他（約 7%）と続く。

【築年数】

31～40 年（約 23%）、51 年以上（約 21%）、21～30 年（約 18%）、41～50 年（約 14%）と 7 割以上が築年数 21 年超えとなっている。改築時の高断熱化・高气密化を進める余地は大きいと考えられる。

【保有車種】

回答のあった台数の約 94%がガソリン車であり、今後次世代自動車への転換が期待できるが、山間部での農用利用等には課題が多く、スピード感はあまり期待できないと考えられる。

【関心度】

「関心がある」・「ある程度関心がある」の合計が約 80%であり、「あまり関心がない」・「関心がない」の約 13%を大きく上回っている。

【今後の情報収集手段】

「現在」と「今後」で比較すると、「町のホームページ・印刷物」が（18→43）と大きく増えていることから、町からの定期的な発信が期待されている。

【温暖化対策の取組みへの考え方】

「経済負担のない範囲で取り組みたい」が約 76%、「経済性が損なわれても取り組む」も約 10%あり、肯定的な考えが大半を占めた。

【温暖化対策へ取り組む理由】

「企業の社会的責任」が約 27%、「経費削減も兼ねる」が 24%と過半数を占めた。次いで、「法規制を遵守するため」が 16%となっている。

【取り組むうえでの障害】

「経費負担」が約 29%、「知識や情報の少なさ」が約 23%と上位 2 つで過半数となっている。以下、「取り組み方がわからない」が約 14%、「設備等の扱い方、維持管理」で約 12%となっている。

小規模な事業所では特に、なるべく経費のかからない、誰でも出来る取り組みの情報発信が必要と考えられる。

【温暖化対策の管理体制】

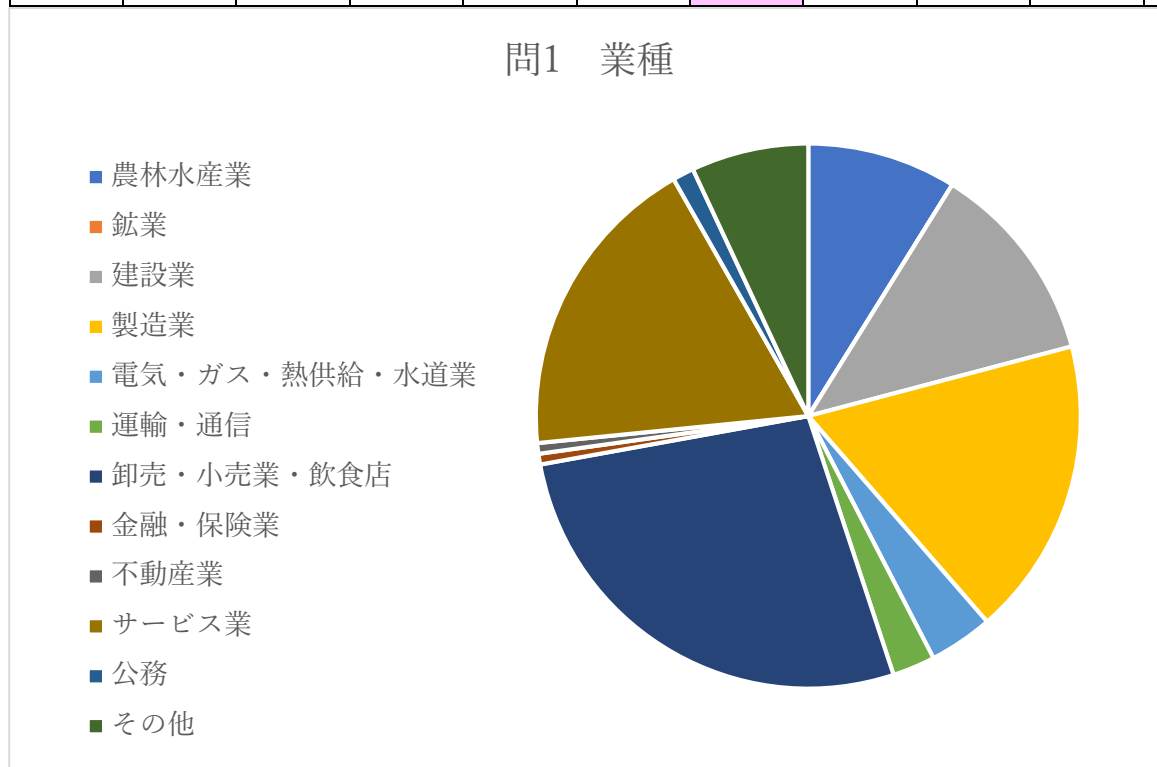
「エネルギー使用量・管理状況の記録」が最も多く、約 16%の事業所で実施している。今後も含め最も前向きな回答が多かったのは「省エネに関する方針の決定」で「すでに実施」・「今後行いたい」を合わせ約 75%となっている。

小規模な事業所や個人経営が多いためか、「担当部署の設置」「社員教育の実施」については「今後も行わない」という意見が多く見られた。

【事業所アンケート結果】

問1 貴事業所の業種を以下の中からお選びください。

農林水産業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	運輸・通信	卸売・小売業・飲食店	金融・保険業	不動産業	サービス業	公務	その他
14	0	19	28	6	4	43	1	1	29	2	11
8.9%	0%	12.0%	17.7%	3.8%	2.5%	27.2%	0.6%	0.6%	18.4%	1.3%	7.0%

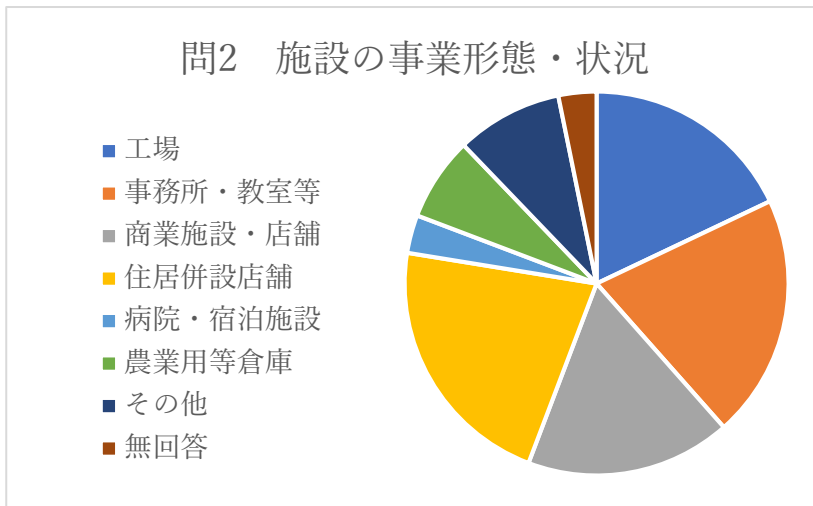


(その他)

- ・教育関係
- ・パソコン教室
- ・医療業
- ・福祉関係
- ・廃棄物収集運搬業

問2 貴事業所の事業形態（施設の状況）をお選びください。

工場	事務所・ 教室等	商業施 設・店舗	住居併設 店舗	病院・宿 泊施設	農業用等 倉庫	その他	無回答
28	32	27	34	5	11	14	5
17.9%	20.5%	17.3%	21.8%	3.2%	7.1%	9.0%	3.2%

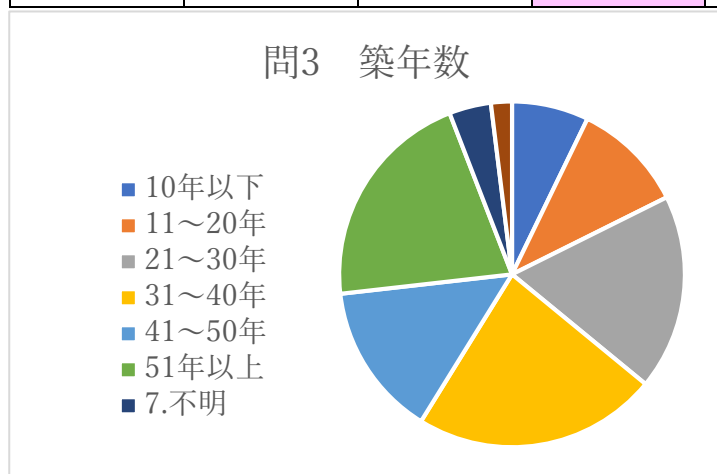


（その他）

- ・ 整骨院
- ・ 福祉施設
- ・ 介護施設
- ・ 生コンクリート運輸
- ・ ビニールハウス

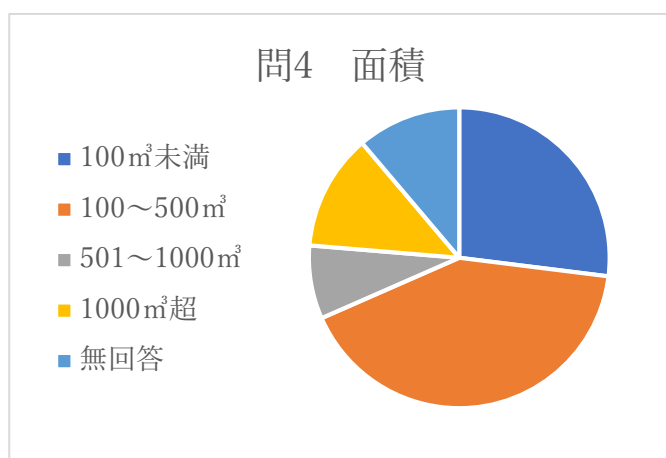
問3 貴事業所の建物の築年数をお選びください。

10年以下	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51年以上	不明	無回答
11	16	28	35	22	32	6	3
7.2%	10.5%	18.3%	22.9%	14.4%	20.9%	3.9%	2.0%



問4 貴事業所の建物の面積をお選びください

100㎡未満	100～500㎡	501～1000㎡	1000㎡超	無回答
41	63	12	19	17
27.0%	41.4%	7.9%	12.5%	11.2%

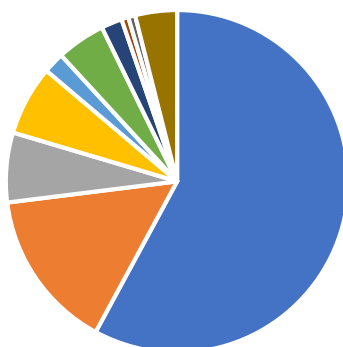


問5 貴事業所の従業員数をお選びください

1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100～199人	200～299人	300人以上	無回答
88	23	10	10	3	7	3	1	1	6
57.9%	15.1%	6.6%	6.6%	2.0%	4.6%	2.0%	0.7%	0.7%	3.9%

問5 従業員数

- 1～4人
- 5～9人
- 10～19人
- 20～29人
- 30～49人
- 50～99人
- 100～199人
- 200～299人
- 300人以上
- 無回答

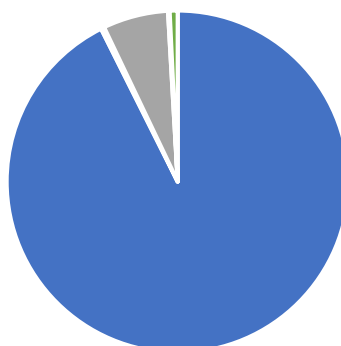


問6 貴事業所の業務用自動車の保有台数をお選びください

ガソリン車・ディーゼル車	電気自動車	ハイブリッド車	プラグインハイブリッド車	燃料電池車(水素カー)	無回答
614	2	41	1	0	5
92.6%	0.3%	6.2%	0.2%	0%	0.8%

問6 保有自動車の種類

- ガソリン車・ディーゼル車
- 電気自動車
- ハイブリッド車
- プラグインハイブリッド車
- 燃料電池車(水素カー)
- 無回答

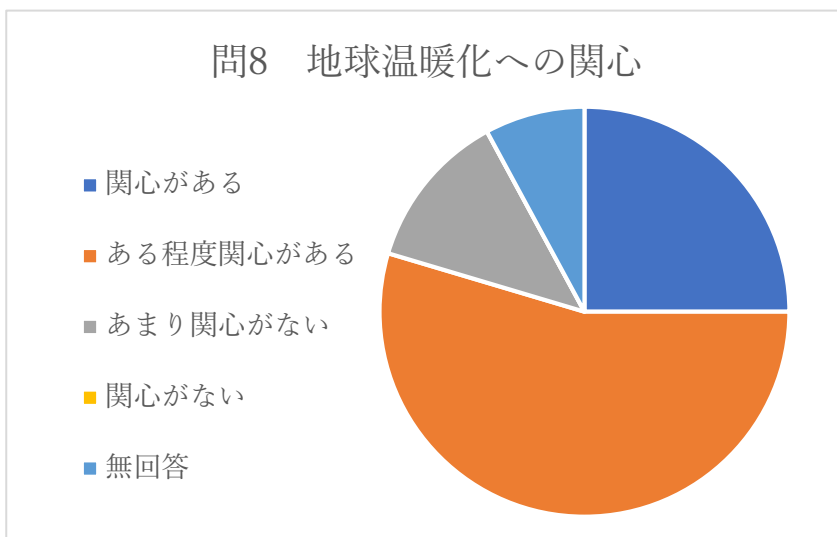


問7 貴事業所の令和3年度（2021年度）のエネルギー使用量についてお聞かせください（可能な範囲で）

エネルギーの種類	使用量合計	回答件数（0は除く）
電気	37,453,183 kWh	62件
ガソリン	230,202 ℓ	82件
軽油	1,261,698 ℓ	41件
A重油	5,109,679 ℓ	8件
灯油	113,600 ℓ	44件
LPガス	107,898 m ³	26件

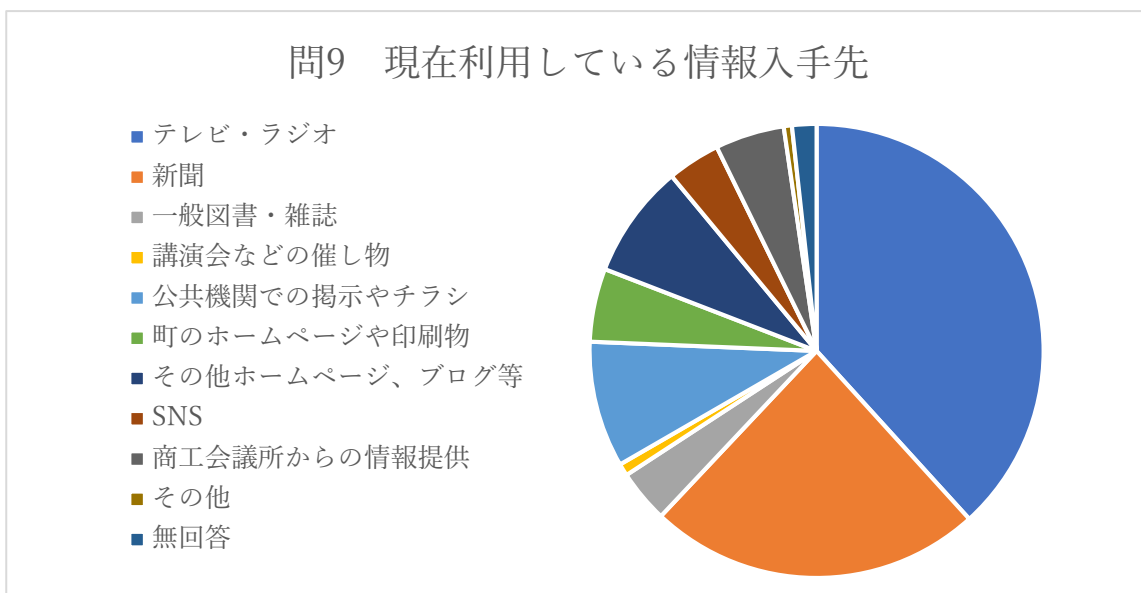
問8 貴事業所の地球温暖化問題への関心について、当てはまるものをお選びください

関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
38	83	19	0	12
25.0%	54.6%	12.5%	0%	7.9%



問9 地球温暖化等の環境問題の情報の入手手段として、現在利用しているものをお選びください。（複数選択可）

テレビ ラジオ	新聞	一般図 書・雑 誌	講演会 などの 催し物	公共機 関での 掲示や チラシ	町のホ ームペ ージや 印刷物	その他 ホーム ペー ジ、ブ ログ等	SNS	商工会 議所か らの情 報提供	その他	無回答
132	82	13	3	31	18	28	13	17	2	6
38.3%	23.8%	3.8%	0.9%	9.0%	5.2%	8.1%	3.8%	4.9%	0.6%	1.7%

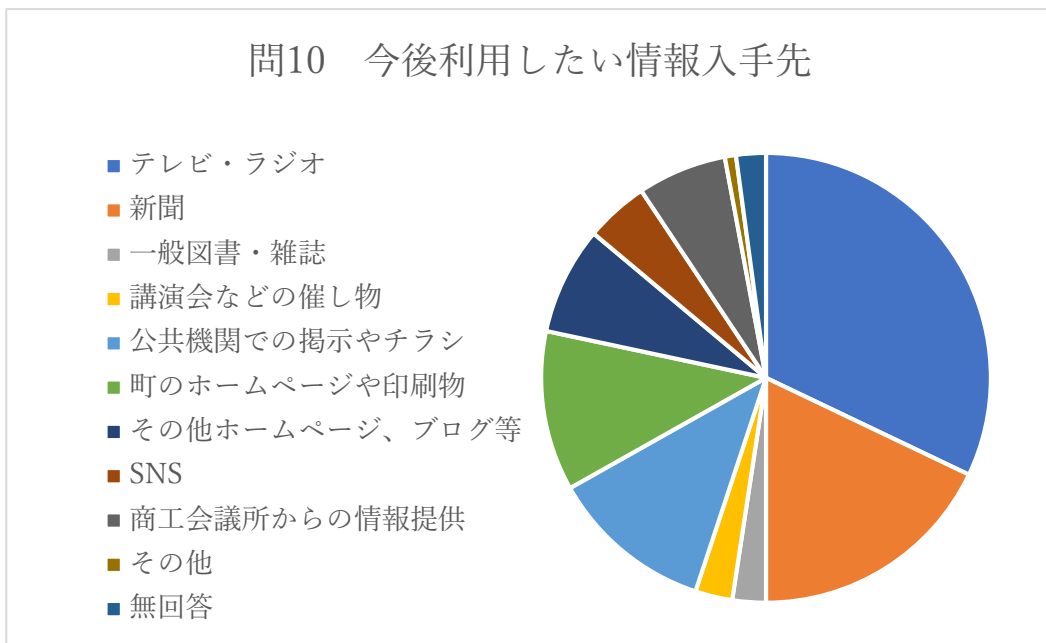


（その他）

- ・インターネット
- ・関係団体誌等

問 10 地球温暖化等の環境問題の情報について、今後どのような手段で得たいと思いますか。（複数回答可）

テレビ ラジオ	新聞	一般図 書・雑 誌	講演会 などの 催し物	公共機 関での 掲示や チラシ	町のホ ームペ ージや 印刷物	その他 ホーム ペー ジ、ブ ログ等	SNS	商工会 議所か らの情 報提供	その他	無回答
120	67	9	10	44	43	29	17	24	3	8
32.8%	18.3%	2.5%	2.7%	12.0%	11.7%	7.9%	4.6%	6.6%	0.8%	2.2%



(その他)

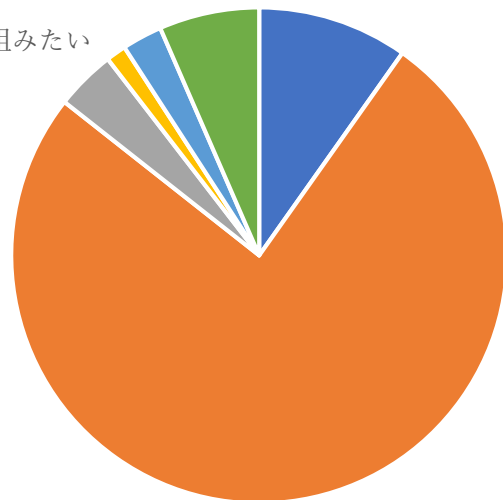
- ・インターネット
- ・関係団体誌等

問 11 貴事業所の地球温暖化対策に対する取り組みへのお考えについて、当てはまるものをお選びください。

取組むことは必要であり、経済性が損なわれても仕方がない	取組むことは必要だが、経済負担のない範囲で取り組みたい	取り組み事は必要だが、できれば取り組みたくない	取組むつもりはない	その他	無回答
15	116	6	2	4	10
9.8%	75.8%	3.9%	1.3%	2.6%	6.5%

問11 温暖化対策に対する取り組みへの考え方

- 取組むことは必要であり、経済性が損なわれても仕方がない
- 取組むことは必要だが、経済負担のない範囲で取り組みたい
- 取り組み事は必要だが、できれば取り組みたくない
- 取組むつもりはない
- その他
- 無回答



(その他)

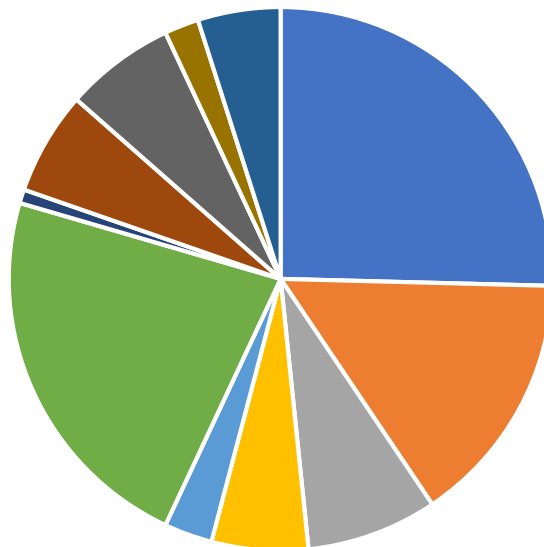
- 必要だと思うが、何ができるかわからない
- 必要性は理解しているが、身近に感じられない

問 12 問 11 で 1, 2 を選ばれた方にお聞きします。取り組む理由として当てはまるものをお選びください。(複数選択可)

企業の社会的責任であり、必要不可欠だから	法規制を遵守するために取り組んでいる	業績(利益)に影響があるから	企業のイメージアップにつながるから	環境ビジネスへの参入・進展につながるから	経費削減も兼ねるから	顧客からの要望があるから	経営方針の一部であるから	行政からの依頼・啓発があるから	その他	無回答
62	37	19	14	7	55	2	15	16	5	12
25.4%	15.2%	7.8%	5.7%	2.9%	22.5%	0.8%	6.1%	6.6%	2.0%	4.9%

問12 温暖化対策に取り組む理由

- 企業の社会的責任であり、必要不可欠だから
- 2.法規制を遵守するために取り組んでいる
- 3.業績(利益)に影響があるから
- 4.企業のイメージアップにつながるから
- 5.環境ビジネスへの参入・進展につながるから
- 6.経費削減も兼ねるから
- 顧客からの要望があるから
- 経営方針の一部であるから
- 行政からの依頼・啓発があるから
- その他
- 無回答



(その他)

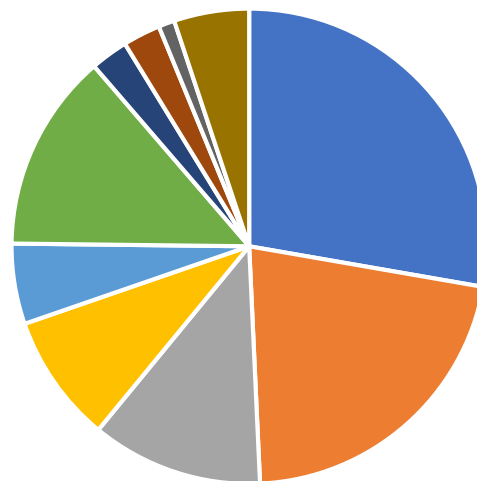
- ・子ども達の将来を考えると、取り組みを改善しておく必要があると思うから
- ・経済以前に地球が健康でなければと思う

問 13 地球温暖化対策を実行していくうえで、問題となっていることをお選びください。（複数選択可）

対策にかかる経費の負担	対策に関する知識や情報が少ない	設備等の扱い方や維持管理が難しい	対策に関する人員が少ない	取り組みの努力が事業の利益につながらない	どのように取り組めば良いかわからない	社内の意識が低い	特に問題はない	その他	無回答
76	59	32	24	15	37	7	7	3	14
27.7%	21.5%	11.7%	8.8%	5.5%	13.5%	2.6%	2.6%	1.1%	5.1%

問13 温暖化対策を実行していくうえでの問題点・課題

- 対策にかかる経費の負担
- 対策に関する知識や情報が少ない
- 設備等の扱い方や維持管理が難しい
- 対策に関する人員が少ない
- 取り組みの努力が事業の利益につながらない
- どのように取り組めば良いかわからない
- 社内の意識が低い
- 特に問題はない
- その他
- 無回答



（その他）

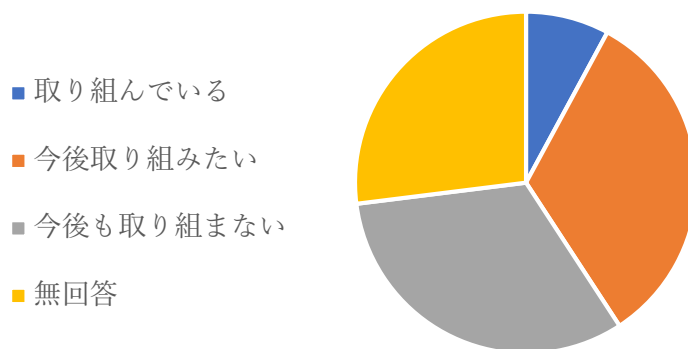
- ・自社で運搬する商品はほとんどなし
- ・国及び地方自治体がかつて経費を出し、進めなければならない
- ・チェーン店なので個人ではできない（小さな取り組みしかできない）

問 14 貴事業所の地球温暖化対策の管理体制について当てはまるものをお選びください。

(1) 環境問題に関する担当部署、担当者を配置

取り組んでいる	今後取り組みたい	今後もし取り組まない	無回答
12	50	49	41
7.9%	32.9%	32.2%	27.0%

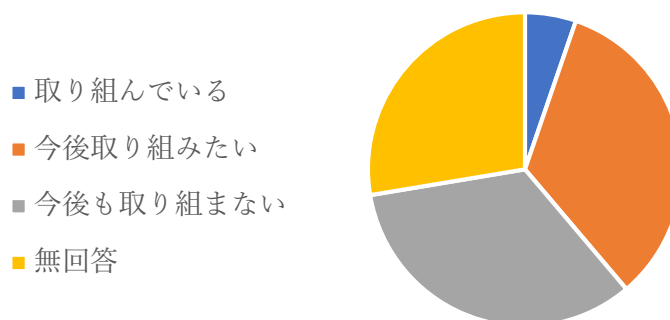
問14-1 担当部署・担当者の配置



(2) 社員研修の実施

取り組んでいる	今後取り組みたい	今後もし取り組まない	無回答
8	51	51	42
5.3%	33.6%	33.6%	27.6%

問14-2 社員研修の実施



(3) 省エネルギーに関する方針の決定

取り組んでいる	今後取り組みたい	今後もし取り組まない	無回答
15	70	27	40
9.9%	46.1%	17.8%	26.3%

問14-3 省エネに関する方針の決定

- 取り組んでいる
- 今後取り組みたい
- 今後もし取り組まない
- 無回答



(4) 環境マネジメントシステムの構築 (※有害物質排出量の記録管理など)

取り組んでいる	今後取り組みたい	今後もし取り組まない	無回答
13	50	44	45
8.6%	32.9%	28.9%	29.6%

問14-4 環境マネジメントシステムの構築

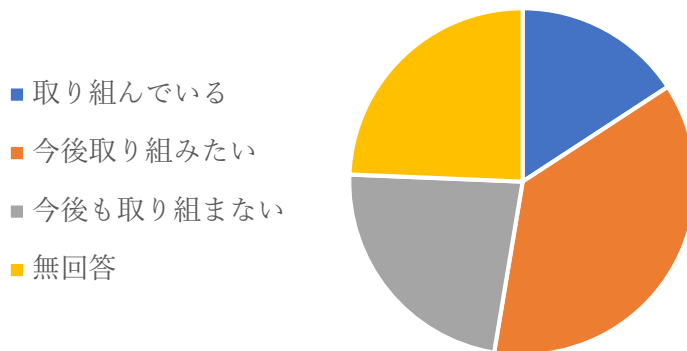
- 取り組んでいる
- 今後取り組みたい
- 今後もし取り組まない
- 無回答



(5) エネルギー使用量や管理状況の記録

取り組んでいる	今後取り組みたい	今後もし取り組まない	無回答
24	56	35	37
15.8%	36.8%	23.0%	24.3%

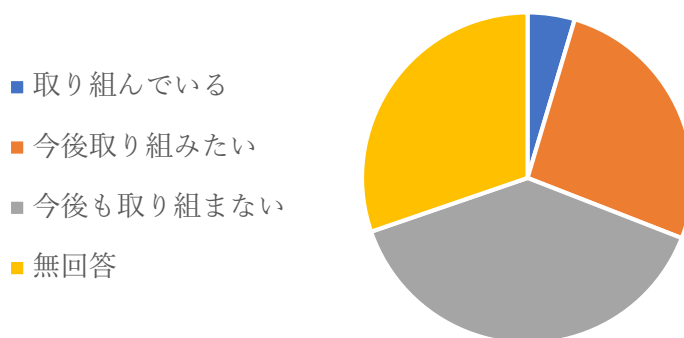
問14-5 エネルギー使用量・管理状況の記録



(6) 環境報告書の作成、公表

取り組んでいる	今後取り組みたい	今後もし取り組まない	無回答
7	40	59	46
4.6%	26.3%	38.8%	30.3%

問14-6 環境報告書の作成・公表



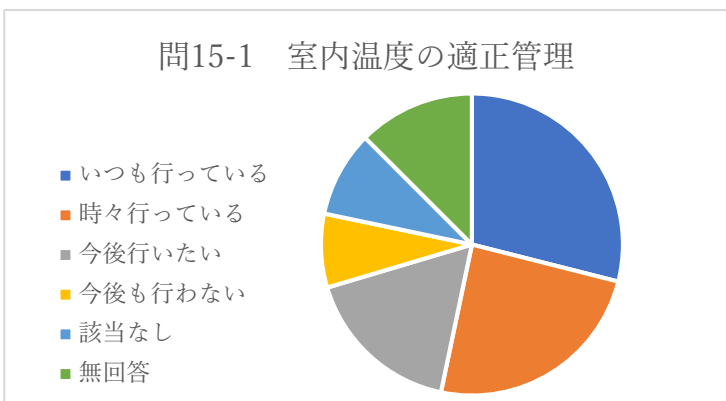
問 15 貴事業所での地球温暖化対策の実施状況について当てはまるものをお選びください。また、「今後行いたい」「今後も行わない」とお答えいただいた方は、現在取り組めない理由として当てはまるものを下欄からお選びいただき、右枠「取り組めない理由」へご記入ください。

<取り組めない理由> ※一番右の欄へ数字をご記入ください

1. 業務を遅延させるため	2. 費用負担が増えるため	3. 業務が複雑になるため
4. 煩わしいため	5. 取り組む必要性を感じないため	6. 定着しないため
7. 取り組み方がわからないため	8. 特に理由はない	

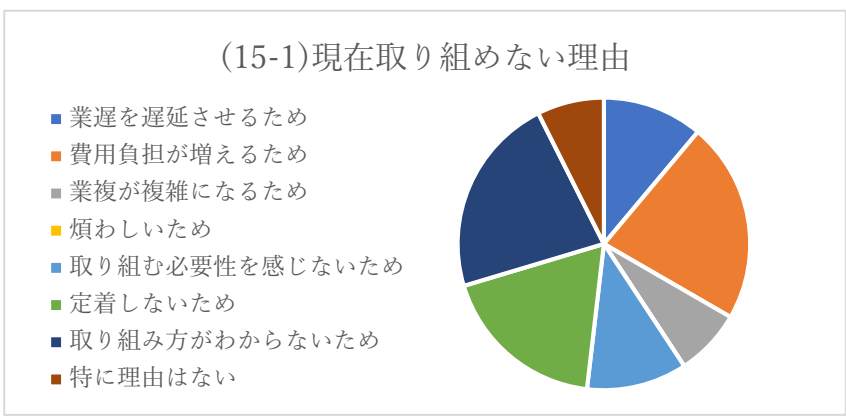
(1) 室内温度の適正管理（冷房 28℃、暖房 20℃に設定）

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
44	37	26	12	14	19
28.9%	24.3%	17.1%	7.9%	9.2%	12.5%



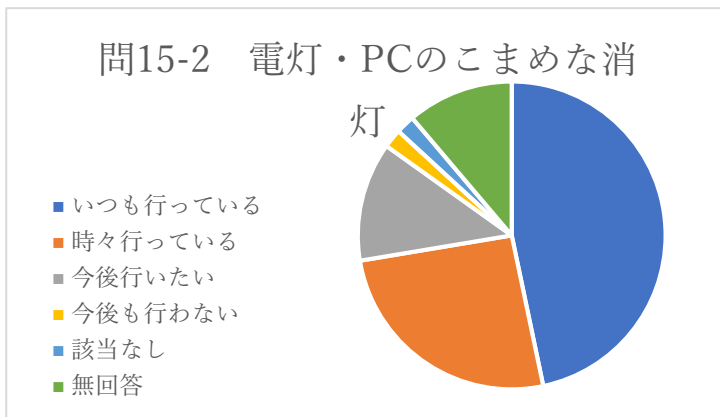
(1-現在取り組めない理由)

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
3	6	2	0	3	5	6	2
11.1%	22.2%	7.4%	0%	11.1%	18.5%	22.2%	7.4%



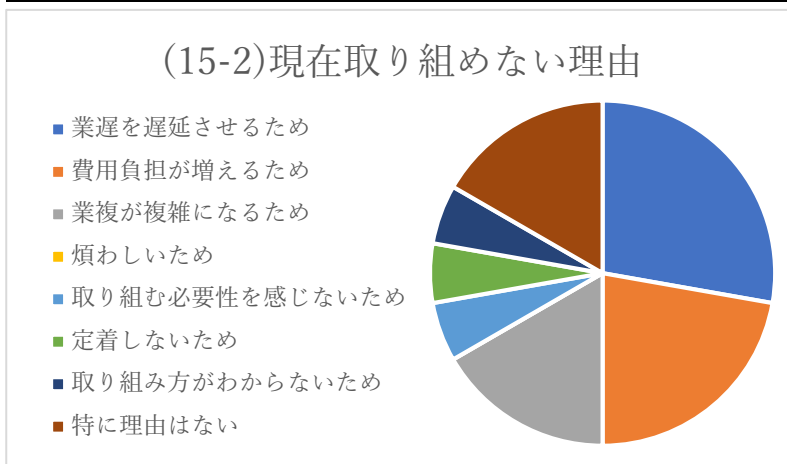
(2) 仕事に影響のない範囲で電灯・パソコン等をこまめに消灯

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
71	39	19	3	3	17
46.7%	25.6%	12.5%	2.0%	2.0%	11.2%



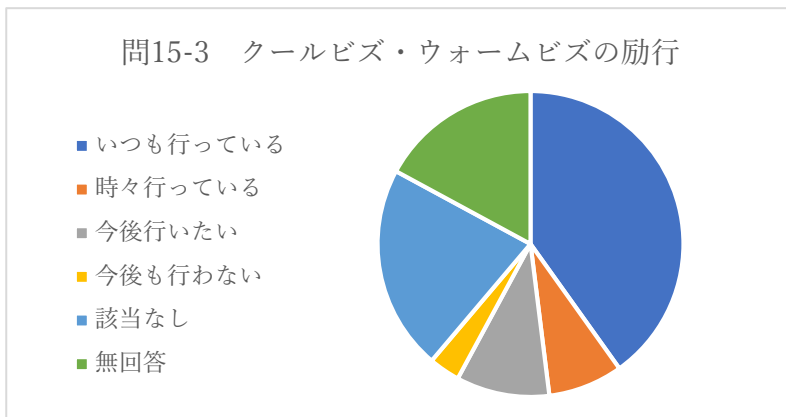
(2-1) 現在取り組めない理由

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
3	6	2	0	3	5	6	2
11.1%	22.2%	7.4%	0%	11.1%	18.5%	22.2%	7.4%



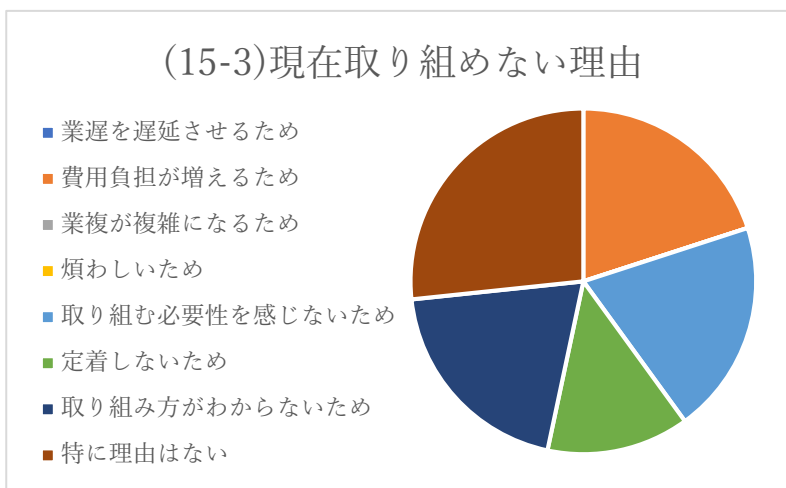
(3) クールビズ・ウォームビズの励行

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
61	12	15	5	33	26
40.1%	7.9%	9.9%	3.3%	21.7%	17.1%



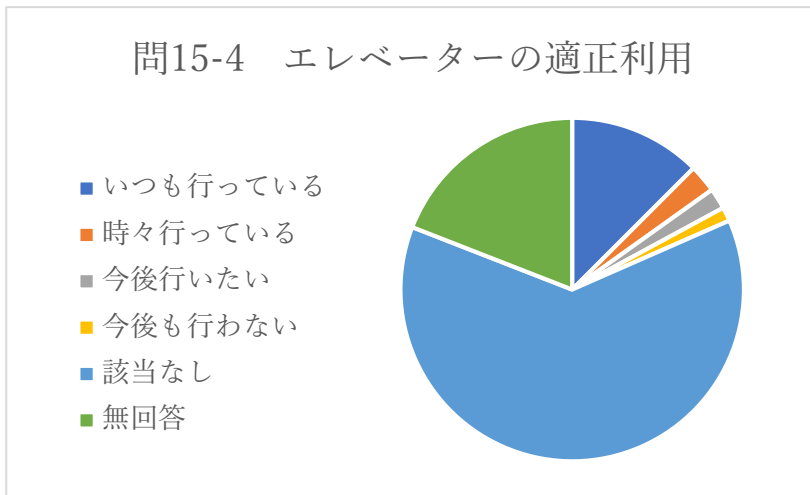
(3-現在取り組めない理由)

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
0	3	0	0	3	2	3	4
0%	20.0%	0%	0%	20.0%	13.3%	20.0%	26.7%



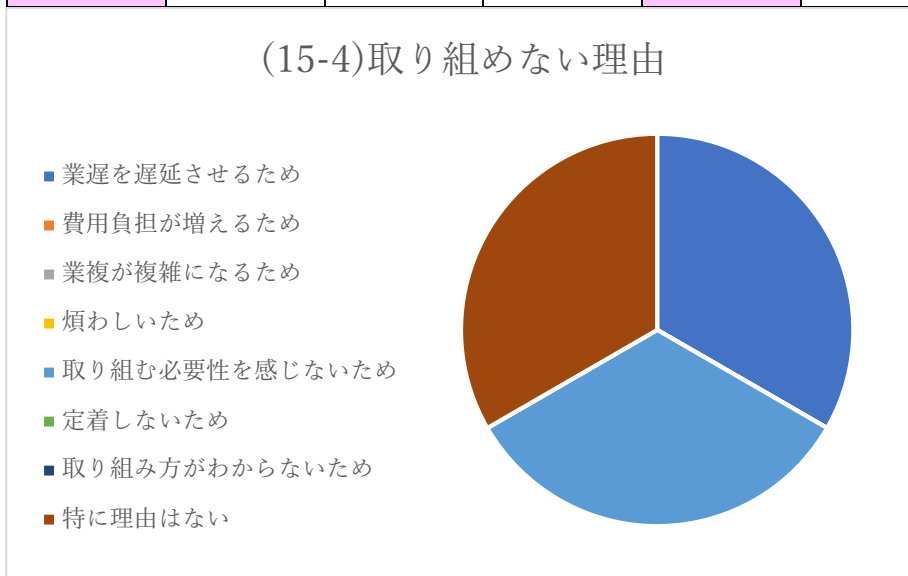
(4) エレベーターの適正利用（階段利用など）

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
19	4	3	2	95	29
12.5%	2.6%	2.0%	1.3%	62.5%	19.1%



(4-現在取り組めない理由)

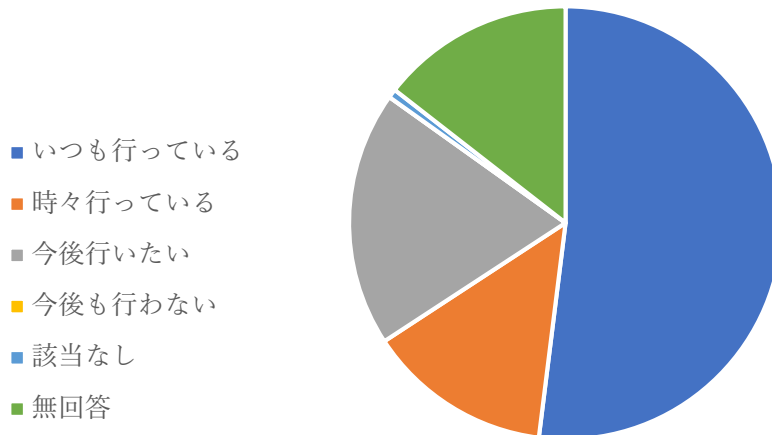
業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
1	0	0	0	1	0	0	1
33.3%	0%	0%	0%	33.3%	0%	0%	33.3%



(5) 買い替え時には、省エネ型機器等の導入（LED 導入など）

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
79	21	29	0	1	22
52.0%	13.8%	19.1%	0%	0.7%	14.5%

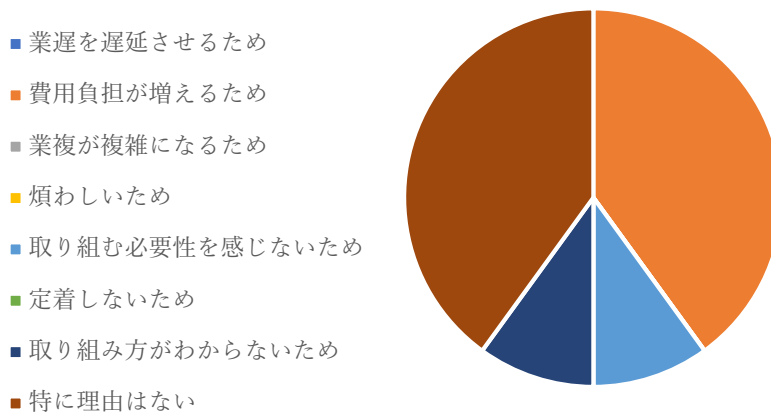
問15-5 買い替え時の省エネ機器導入



(5-1) 現在取り組めない理由

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
0	4	0	0	1	0	1	4
0%	40.0%	0%	0%	10.0%	0%	10.0%	40.0%

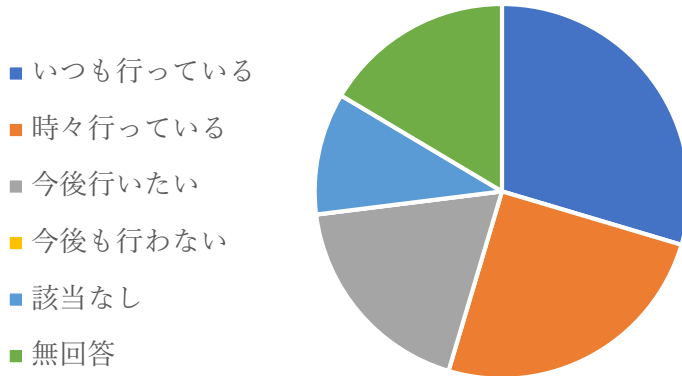
(15-5) 現在取り組めない理由



(6) 地産地消の推進

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
45	38	28	0	16	25
29.6%	25.0%	18.4%	0%	10.5%	16.4%

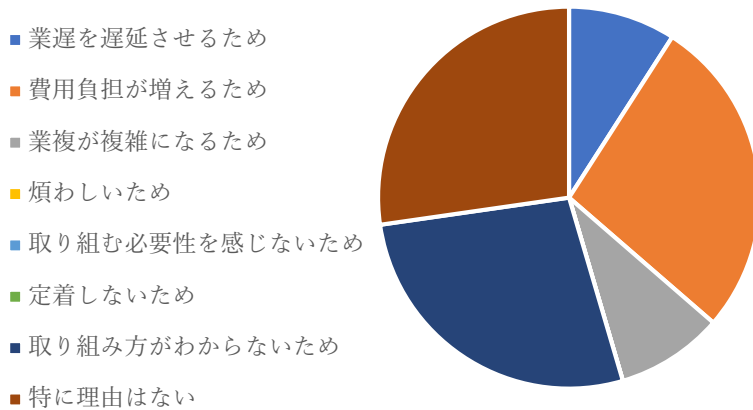
問15-6 地産地消の推進



(6-1) 現在取り組めない理由

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
1	3	1	0	0	0	3	3
9.1%	27.3%	9.1%	0%	0%	0%	27.3%	27.3%

(15-6) 現在取り組めない理由

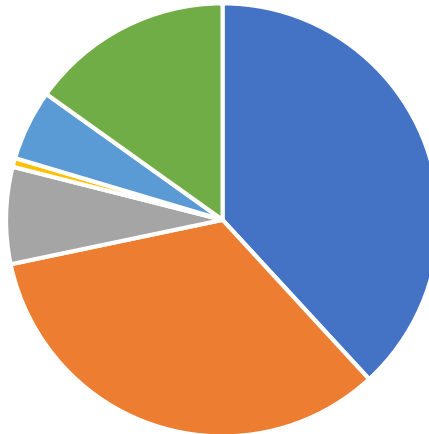


(7) 定期的なエアコンフィルターの掃除

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
58	51	11	1	8	23
38.2%	33.6%	7.2%	0.7%	5.3%	15.1%

問15-7 定期的なエアコンフィルター掃除

- いつも行っている
- 時々行っている
- 今後行いたい
- 今後も行わない
- 該当なし
- 無回答



(7ー現在取り組めない理由)

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
0	1	0	0	1	1	0	1
0%	25.0%	0%	0%	25.0%	25.0%	0%	25.0%

(15-7)現在取り組めない理由

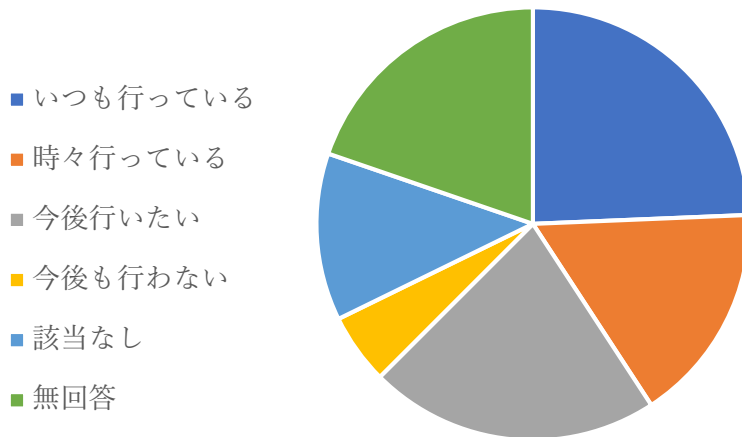
- 業務を遅延させるため
- 費用負担が増えるため
- 業務が複雑になるため
- 煩わしいため
- 取り組む必要性を感じないため
- 定着しないため
- 取り組み方がわからないため
- 特に理由はない



(8) 事業所や工場のエネルギー利用状況の把握

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
37	25	33	8	19	30
24.3%	16.4%	21.7%	5.3%	12.5%	19.7%

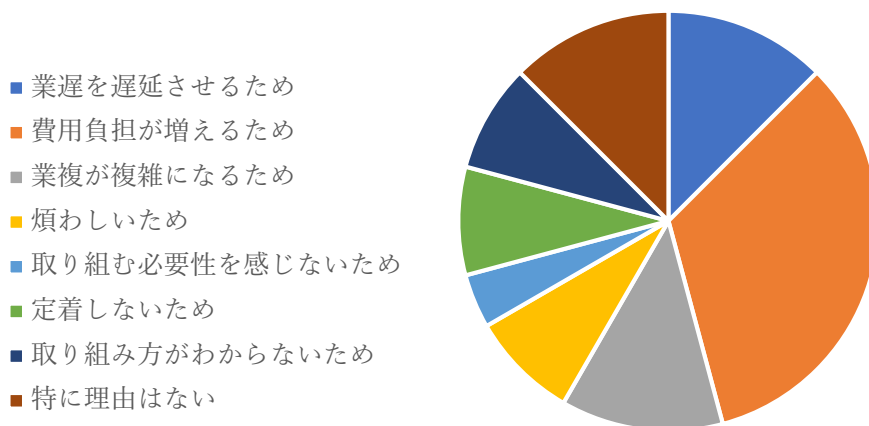
問15-8 エネルギー利用状況の把握



(8-1) 現在取り組めない理由

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
3	8	3	2	1	2	2	3
12.5%	33.3%	12.5%	8.3%	4.2%	8.3%	8.3%	12.5%

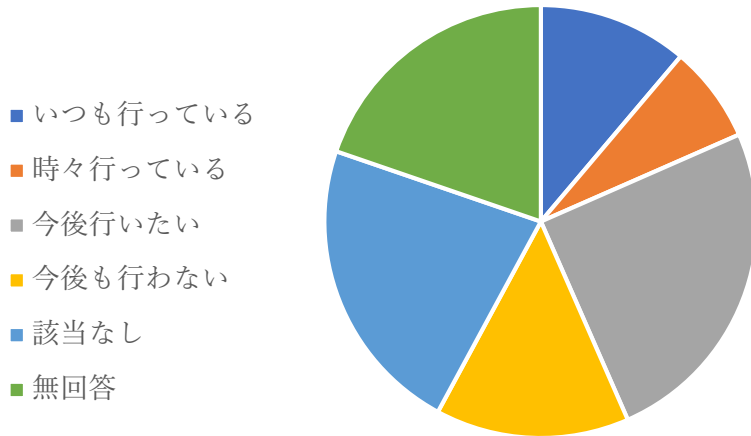
(15-8) 現在取り組めない理由



(9) 建物の高断熱化や高気密化（事業所・工場等の新築、改築時）

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
17	11	38	22	34	30
11.2%	7.2%	25.0%	14.5%	22.4%	19.7%

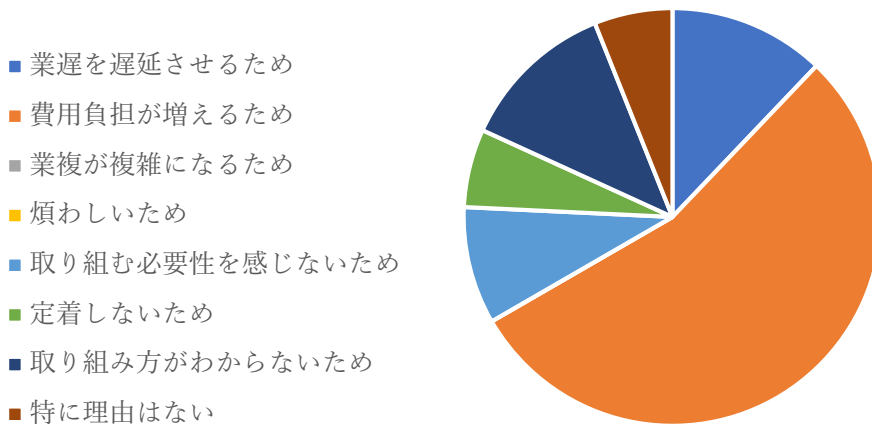
問15-9 建物の高断熱化・高気密化



(9-1) 現在取り組めない理由

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
4	18	0	0	3	2	4	2
12.1%	54.5%	0%	0%	9.1%	6.1%	12.1%	6.1%

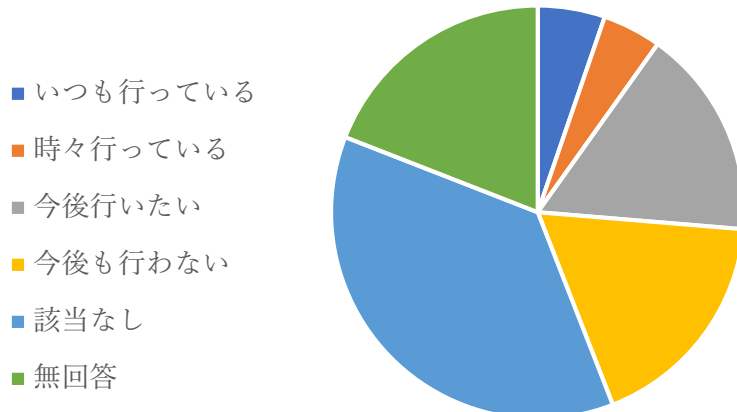
(15-9)現在取り組めない理由



(10) 屋上緑化や壁面緑化（みどりのカーテンなど）

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
8	7	25	22	56	29
5.3%	4.6%	16.4%	14.5%	36.8%	19.1%

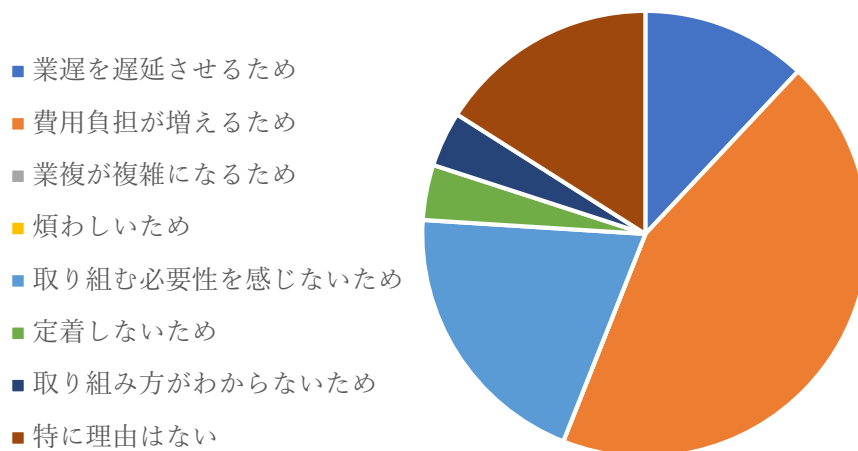
問15-10 屋上や壁面の緑化



(10ー現在取り組めない理由)

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
3	11	0	0	5	1	1	4
12.0%	44.0%	0%	0%	20.0%	4.0%	4.0%	16.0%

(15-10)現在取り組めない理由

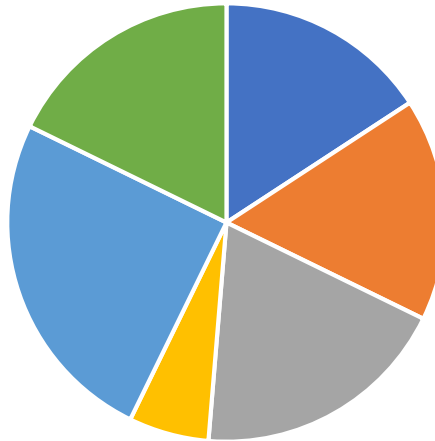


(11) 資材や商品などの包装の簡易化

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
24	25	29	9	38	27
15.8%	16.4%	19.1%	5.9%	25.0%	17.8%

問15-11 資材・商品の包装の簡易化

- いつも行っている
- 時々行っている
- 今後行いたい
- 今後も行わない
- 該当なし
- 無回答

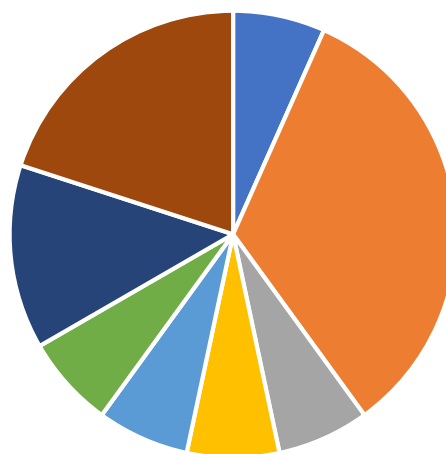


(11ー現在取り組めない理由)

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
1	5	1	1	1	1	2	3
6.7%	33.3%	6.7%	6.7%	6.7%	6.7%	13.3%	20.0%

(15-11)現在取り組めない理由

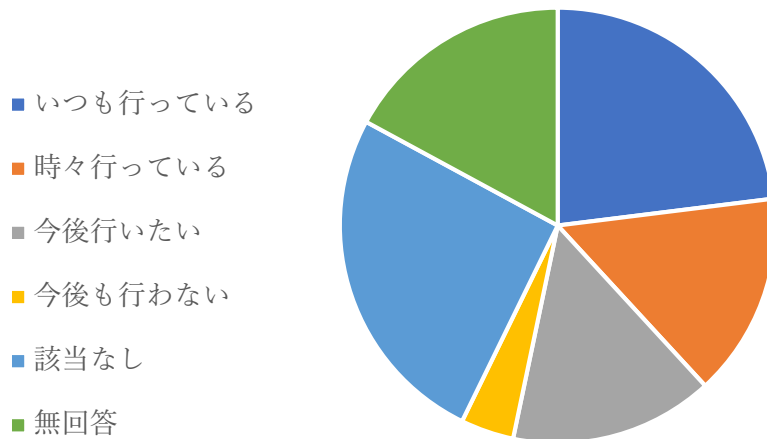
- 業遅を遅延させるため
- 費用負担が増えるため
- 業復が複雑になるため
- 煩わしいため
- 取り組む必要性を感じないため
- 定着しないため
- 取り組み方がわからないため
- 特に理由はない



(12) 照明（ネオンや看板含む）や自然光の適正利用

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
35	23	23	6	39	26
23.0%	15.1%	15.1%	3.9%	25.7%	17.1%

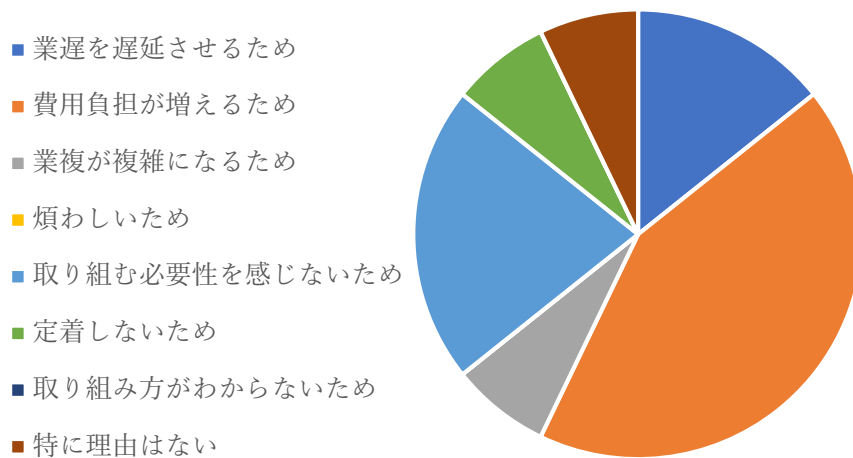
問15-12 照明や自然光の適正利用



(12-1) 現在取り組めない理由

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
2	6	1	0	3	1	0	1
14.3%	42.9%	7.1%	0%	21.4%	7.1%	0%	7.1%

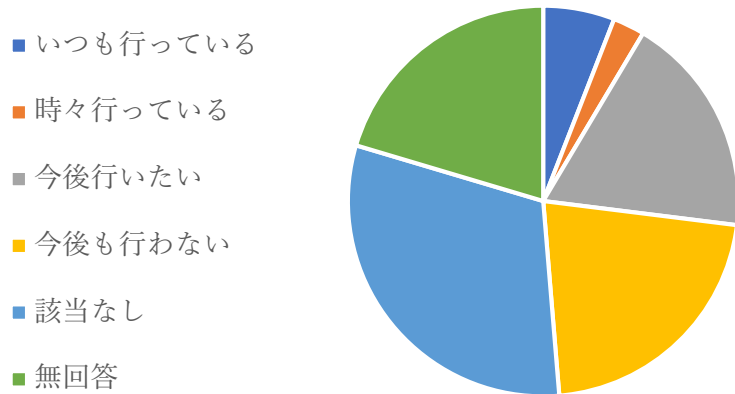
(15-12) 現在取り組めない理由



(13) 太陽光発電などの再生可能エネルギーの利用

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
9	4	28	33	47	31
5.9%	2.6%	18.4%	21.7%	30.9%	20.4%

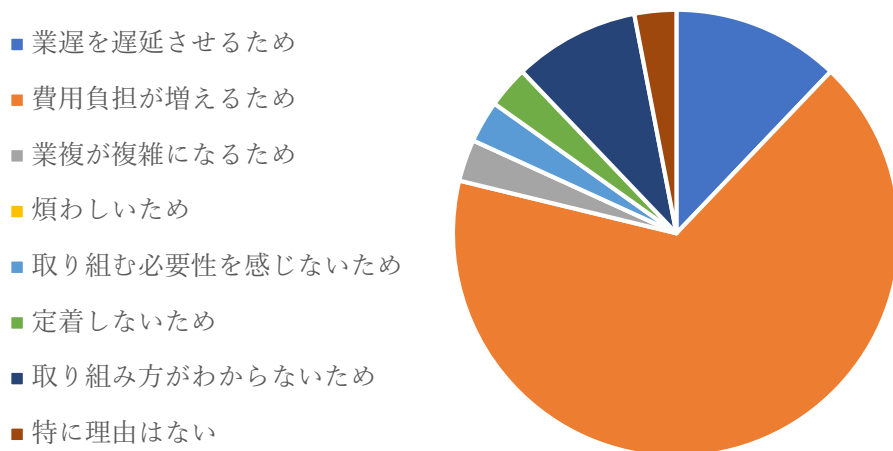
問15-13 再生可能エネルギーの利用



(13-現在取り組めない理由)

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
4	22	1	0	1	1	3	1
12.1%	66.7%	3.0%	0%	3.0%	3.0%	9.1%	3.0%

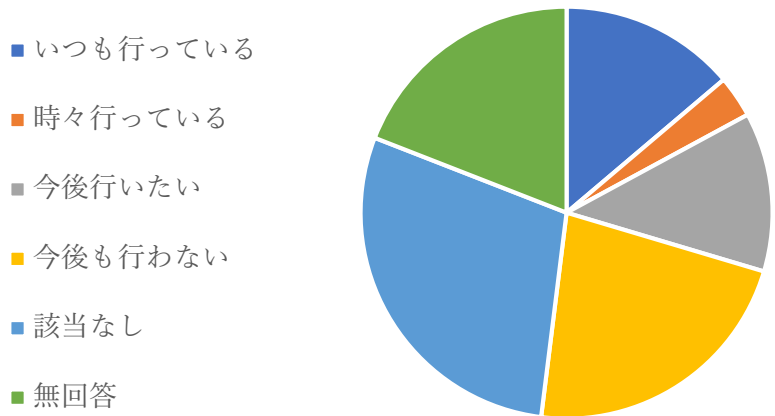
(15-13)現在取り組めない理由



(14) エコキュートなど高効率給湯器の導入

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
21	5	19	34	44	29
13.8%	3.3%	12.5%	22.4%	28.9%	19.1%

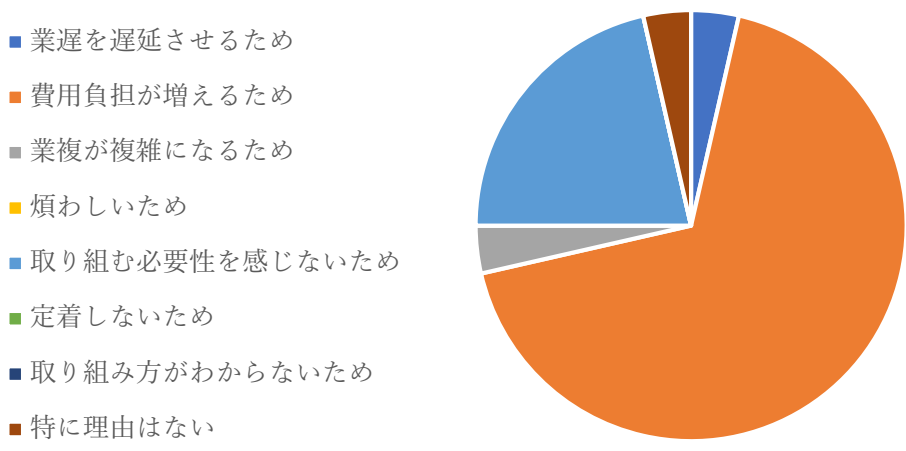
問15-14 高効率給湯器の導入



(14-現在取り組めない理由)

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
1	19	1	0	6	0	0	1
3.6%	67.9%	3.6%	0%	21.4%	0%	0%	3.6%

(15-14)現在取り組めない理由

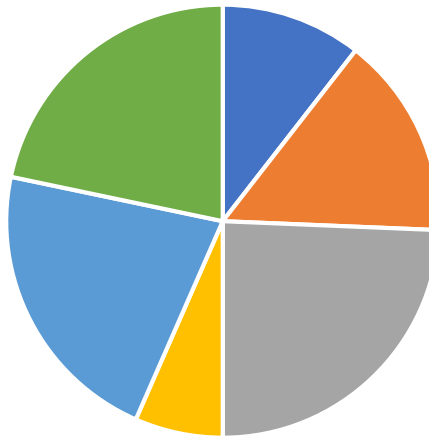


(15) グリーン購入の推進 (※環境負荷の小さいものを優先購入)

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
16	23	37	10	33	33
10.5%	15.1%	24.3%	6.6%	21.7%	21.7%

問15-15 グリーン購入の推進

- いつも行っている
- 時々行っている
- 今後行いたい
- 今後も行わない
- 該当なし
- 無回答

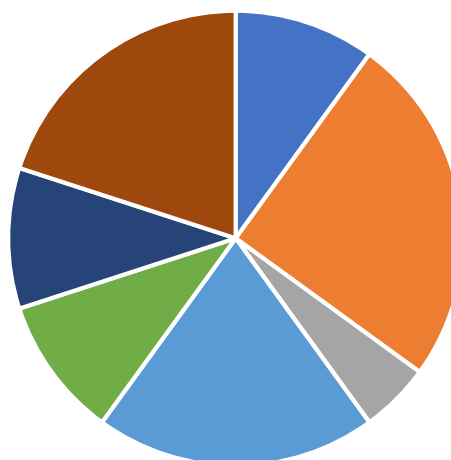


(15-現在取り組めない理由)

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
2	5	1	0	4	2	2	4
10.0%	25.0%	5.0%	0%	20.0%	10.0%	10.0%	20.0%

(15-15)現在取り組めない理由

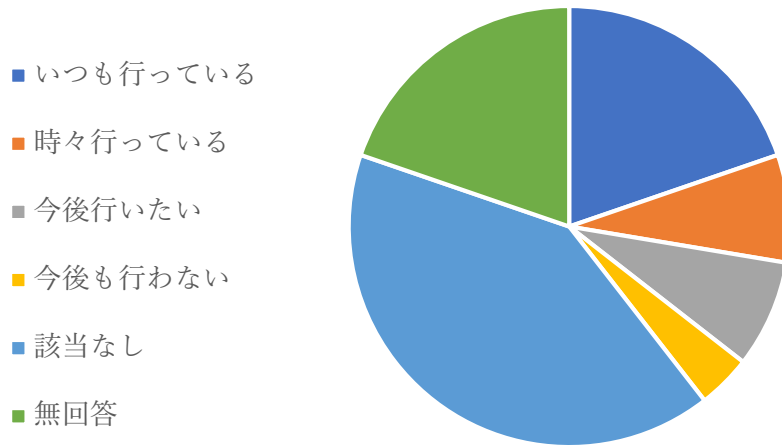
- 業務を遅延させるため
- 費用負担が増えるため
- 業務が複雑になるため
- 煩わしいため
- 取り組む必要性を感じないため
- 定着しないため
- 取り組み方がわからないため
- 特に理由はない



(16) 燃焼装置（ボイラーなど）の適正運転

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
30	12	12	6	62	30
19.7%	7.9%	7.9%	3.9%	40.8%	19.7%

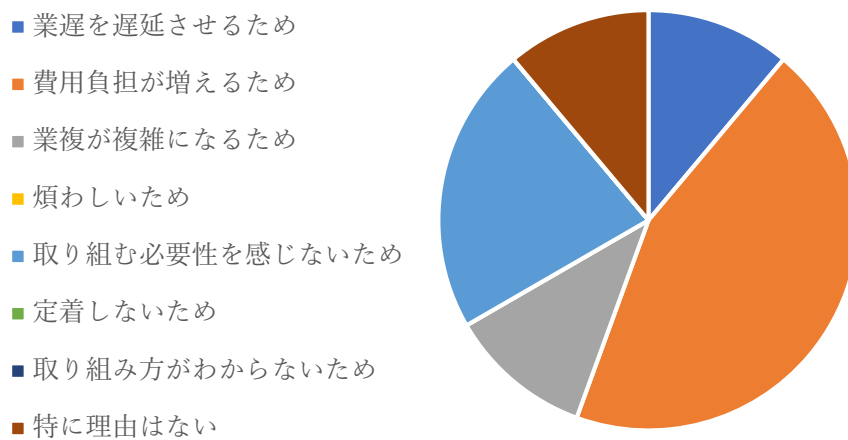
問15-16 燃焼装置の適正運転



(16-1) 現在取り組めない理由

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
1	4	1	0	2	0	0	1
11.1%	44.4%	11.1%	0%	22.2%	0%	0%	11.1%

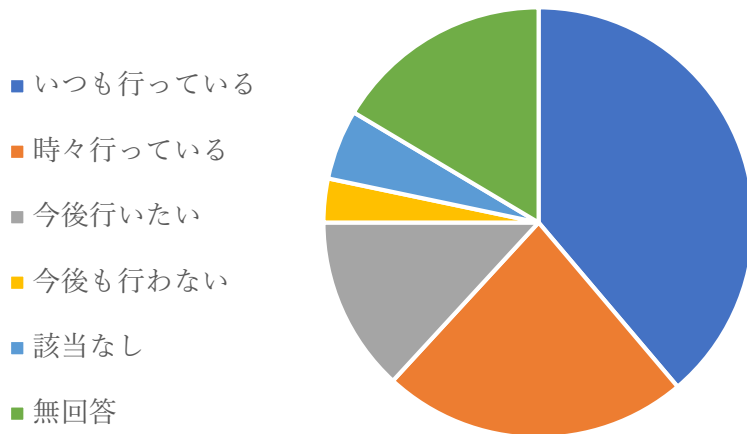
(15-16) 現在取り組めない理由



(17) 紙の裏面利用や両面印刷の推進

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
59	35	20	5	8	25
38.8%	23.0%	13.2%	3.3%	5.3%	16.4%

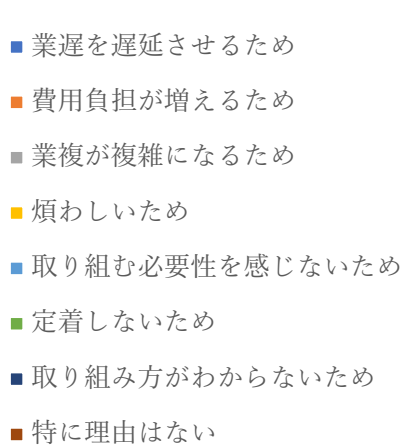
問15-17 紙の裏面利用・両面印刷



(17-1) 現在取り組めない理由

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
3	5	2	0	1	2	2	2
17.6%	29.4%	11.8%	0%	5.9%	11.8%	11.8%	11.8%

(15-17) 現在取り組めない理由

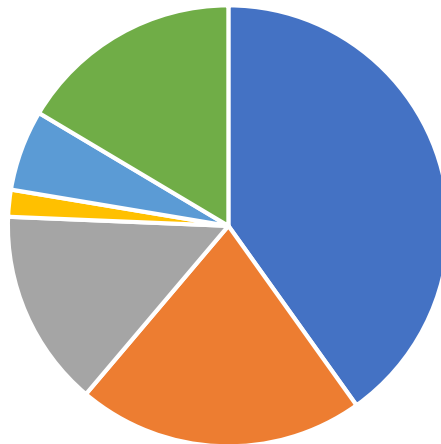


(18) パソコンやコピー機などを省エネ設定にする

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
61	32	22	3	9	25
40.1%	21.1%	14.5%	2.0%	5.9%	16.4%

問15-18 PC等機器の省エネ設定

- いつも行っている
- 時々行っている
- 今後行いたい
- 今後も行わない
- 該当なし
- 無回答

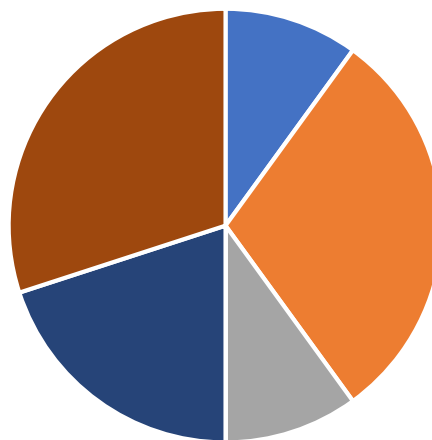


(18-1) 現在取り組めない理由

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
1	3	1	0	0	0	2	3
10.0%	30.0%	10.0%	0%	0%	0%	20.0%	30.0%

(15-18) 現在取り組めない理由

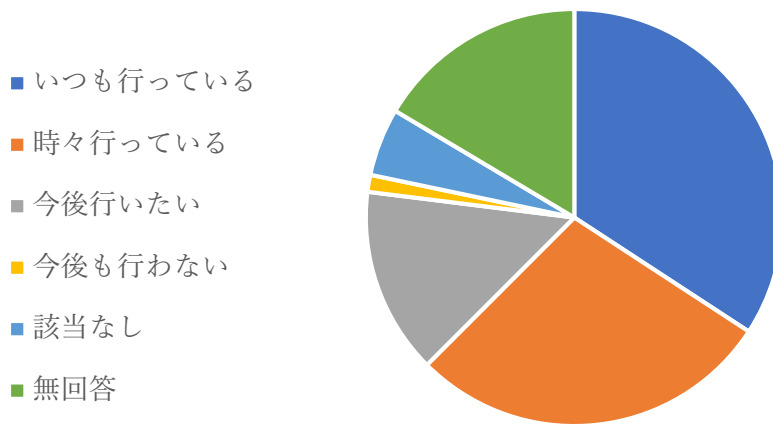
- 業務を遅延させるため
- 費用負担が増えるため
- 業務が複雑になるため
- 煩わしいため
- 取り組む必要性を感じないため
- 定着しないため
- 取り組み方がわからないため
- 特に理由はない



(19) 事業系ごみの減量やリサイクル推進

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
52	43	22	2	8	25
34.2%	28.3%	14.5%	1.3%	5.3%	16.4%

問15-19 事業所系ごみの減量やリサイクル推進

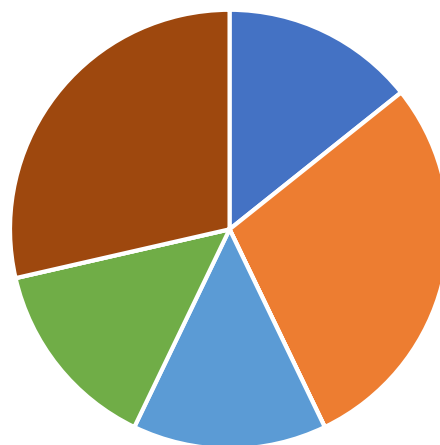


(19-現在取り組めない理由)

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
1	2	0	0	1	1	0	2
14.3%	28.6%	0%	0%	14.3%	14.3%	0%	28.6%

(15-19)現在取り組めない理由

- 業務を遅延させるため
- 費用負担が増えるため
- 業務が複雑になるため
- 煩わしいため
- 取り組む必要性を感じないため
- 定着しないため
- 取り組み方がわからないため
- 特に理由はない

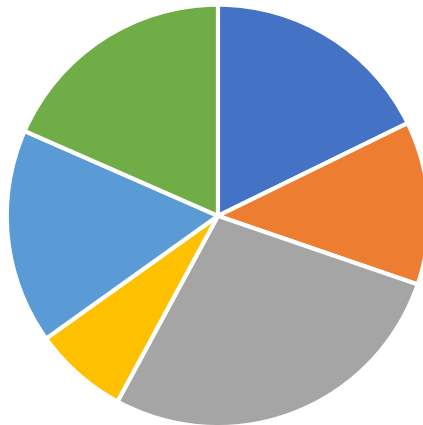


(20) 地球環境活動の取り組み（ごみ収集、緑化、募金、イベント開催など）

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
27	19	42	11	25	28
17.8%	12.5%	27.6%	7.2%	16.4%	18.4%

問15-20 地球環境活動の取り組み

- いつも行っている
- 時々行っている
- 今後行いたい
- 今後も行わない
- 該当なし
- 無回答

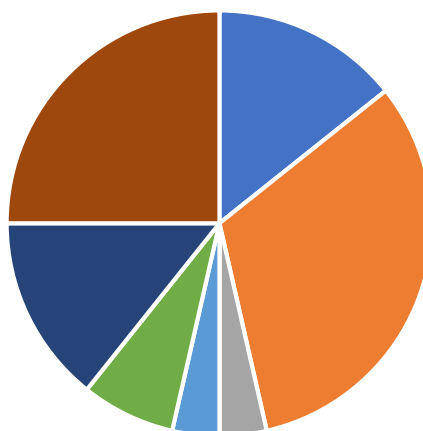


(20-1) 現在取り組めない理由

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
4	9	1	0	1	2	4	7
14.3%	32.1%	3.6%	0%	3.6%	7.1%	14.3%	25.0%

(15-20) 現在取り組めない理由

- 業務を遅延させるため
- 費用負担が増えるため
- 業務が複雑になるため
- 煩わしいため
- 取り組む必要性を感じないため
- 定着しないため
- 取り組み方がわからないため
- 特に理由はない

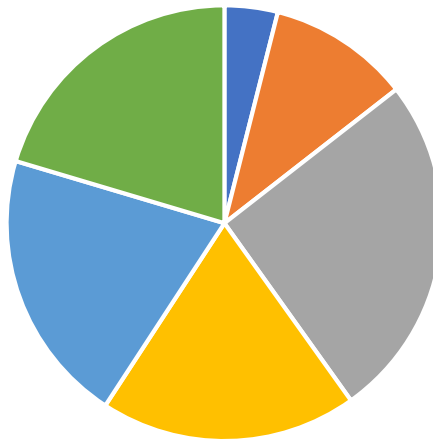


(21) 環境に関する各種講座やイベント等への参加

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
6	16	39	29	31	31
3.9%	10.5%	25.7%	19.1%	20.4%	20.4%

問15-21 各種講座・イベントへの参加

- いつも行っている
- 時々行っている
- 今後行いたい
- 今後も行わない
- 該当なし
- 無回答

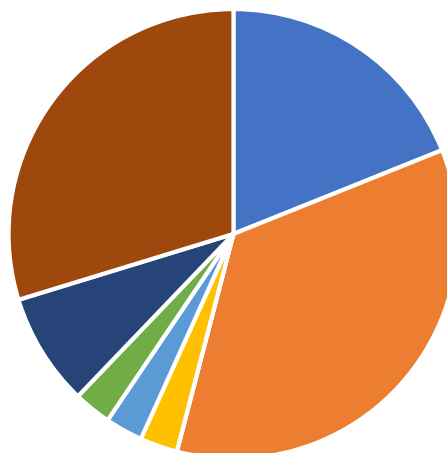


(21-現在取り組めない理由)

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
7	13	0	1	1	1	3	11
18.9%	35.1%	0%	2.7%	2.7%	2.7%	8.1%	29.7%

(15-21)現在取り組めない理由

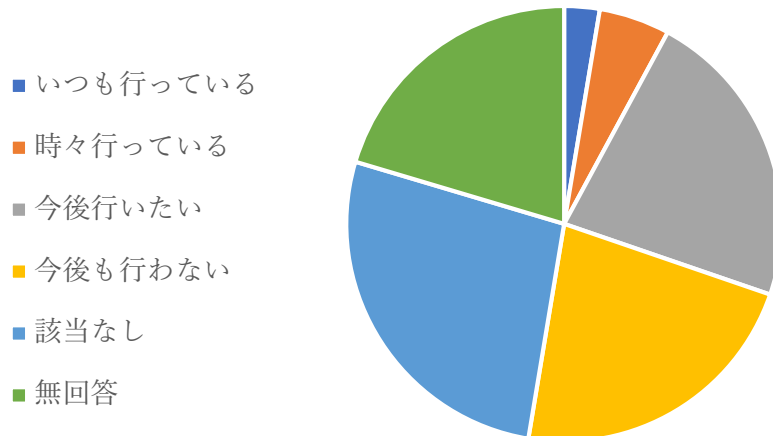
- 業務を遅延させるため
- 費用負担が増えるため
- 業務が複雑になるため
- 煩わしいため
- 取り組む必要性を感じないため
- 定着しないため
- 取り組み方がわからないため
- 特に理由はない



(22) 外部専門家の指導・助言（省エネ診断等）

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
4	8	34	34	41	31
2.6%	5.3%	22.4%	22.4%	27.0%	20.4%

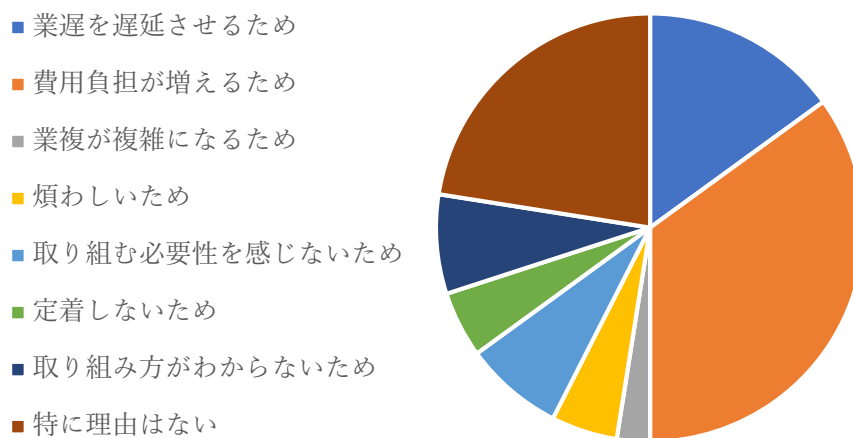
問15-22 外部専門家の指導・助言



(22-1) 現在取り組めない理由

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
6	14	1	2	3	2	3	9
15.0%	35.0%	2.5%	5.0%	7.5%	5.0%	7.5%	22.5%

(15-22) 現在取り組めない理由

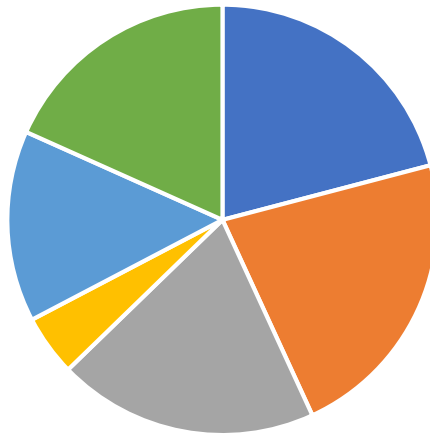


(23) エコドライブの実施

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
32	34	30	7	22	28
21.1%	22.4%	19.7%	4.6%	14.5%	18.4%

問15-23 エコドライブの実施

- いつも行っている
- 時々行っている
- 今後行いたい
- 今後も行わない
- 該当なし
- 無回答

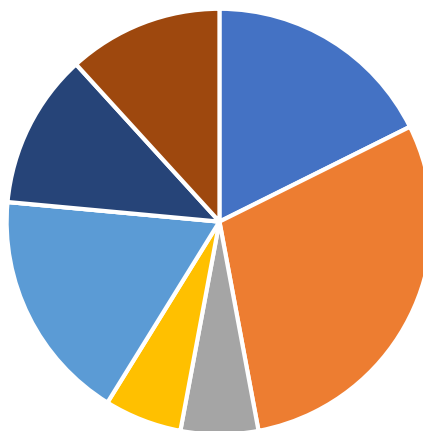


(23-現在取り組めない理由)

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
3	5	1	1	3	0	2	2
17.6%	29.4%	5.9%	5.9%	17.6%	0%	11.8%	11.8%

(15-23)現在取り組めない理由

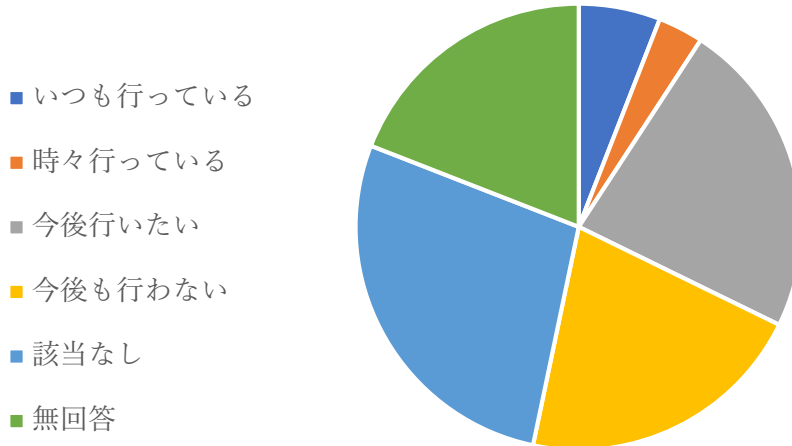
- 業務を遅延させるため
- 費用負担が増えるため
- 業務が複雑になるため
- 煩わしいため
- 取り組む必要性を感じないため
- 定着しないため
- 取り組み方がわからないため
- 特に理由はない



(24) 電気自動車などエコカーの導入

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
3	5	35	32	42	29
2.0%	3.3%	23.0%	21.1%	27.6%	19.1%

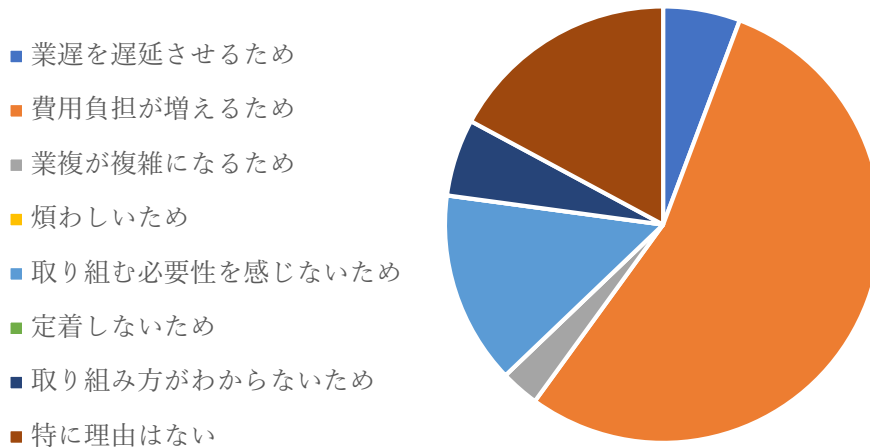
問15-24 電気自動車などエコカーの導入



(24-1) 現在取り組めない理由

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
2	19	1	0	5	0	2	6
5.7%	54.3%	2.9%	0%	14.3%	0%	5.7%	17.1%

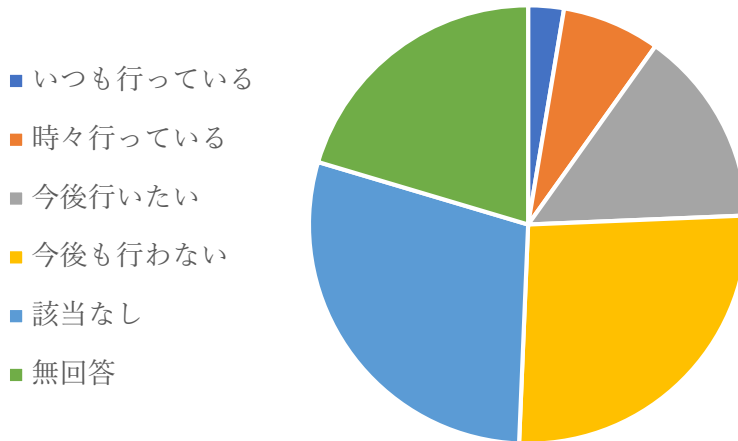
(15-24) 現在取り組めない理由



(25) 公共交通機関の利用による自動車使用の低減

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
4	11	22	40	44	31
2.6%	7.2%	14.5%	26.3%	28.9%	20.4%

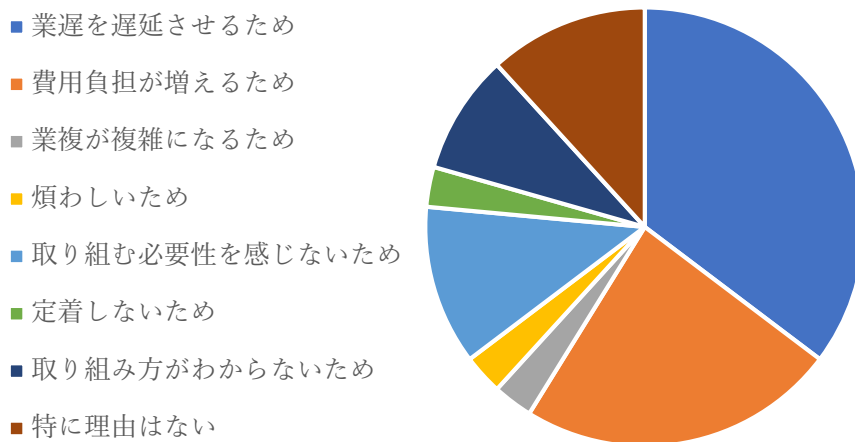
問15-25 公共交通機関の利用



(25-1 現在取り組めない理由)

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
12	8	1	1	4	1	3	4
35.3%	23.5%	2.9%	2.9%	11.8%	2.9%	8.8%	11.8%

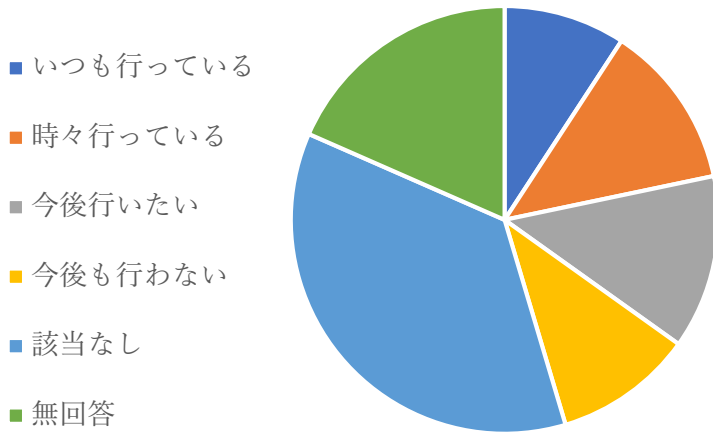
(15-25)現在取り組めない理由



(26) 共同輸送・配送等の計画による運輸の合理化

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
14	19	20	16	55	28
9.2%	12.5%	13.2%	10.5%	36.2%	18.4%

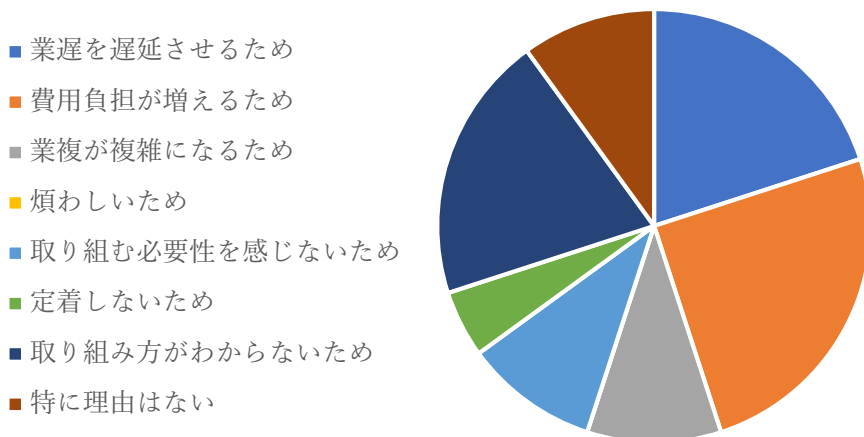
問15-26 共同輸送・配送等の計画



(26-1) 現在取り組めない理由

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
4	5	2	0	2	1	4	2
20.0%	25.0%	10.0%	0%	10.0%	5.0%	20.0%	10.0%

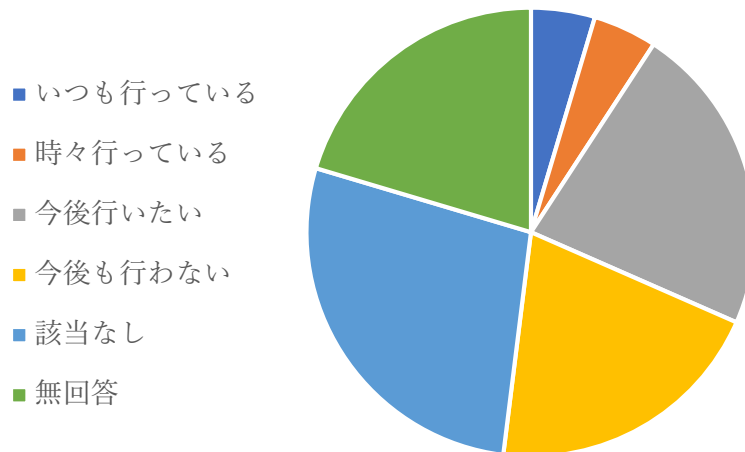
(15-26) 現在取り組めない理由



(27) 事業所での環境に関する取組内容の公開

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
7	7	34	31	42	31
4.6%	4.6%	22.4%	20.4%	27.6%	20.4%

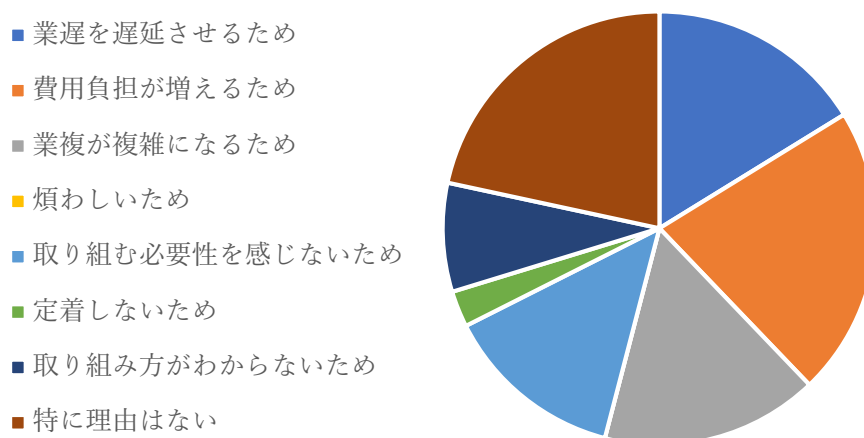
問15-27 環境に関する取組内容の公開



(27-現在取り組めない理由)

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
6	8	6	0	5	1	3	8
16.2%	21.6%	16.2%	0%	13.5%	2.7%	8.1%	21.6%

(15-27)現在取り組めない理由

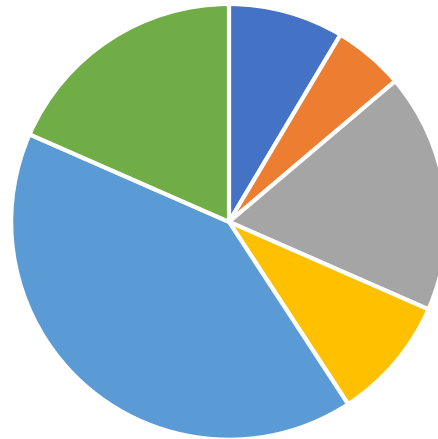


(28) 環境に配慮した製品の開発、製造、販売

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
13	8	27	14	62	28
8.6%	5.3%	17.8%	9.2%	40.8%	18.4%

問15-28 環境に配慮した製品の開発・製造・販売

- いつも行っている
- 時々行っている
- 今後行いたい
- 今後も行わない
- 該当なし
- 無回答

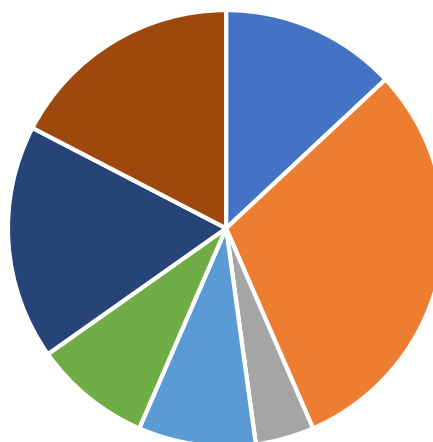


(28-1) 現在取り組めない理由

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
3	7	1	0	2	2	4	4
13.0%	30.4%	4.3%	0%	8.7%	8.7%	17.4%	17.4%

(15-28) 現在取り組めない理由

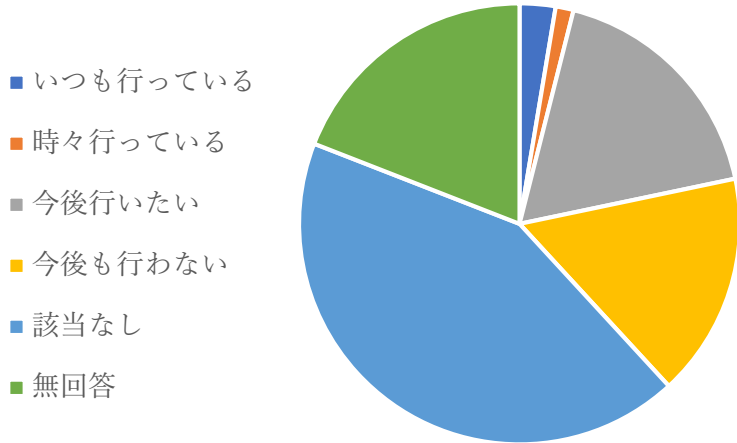
- 業務を遅延させるため
- 費用負担が増えるため
- 業務が複雑になるため
- 煩わしいため
- 取り組む必要性を感じないため
- 定着しないため
- 取り組み方がわからないため
- 特に理由はない



(29) 建物の新築、改築時のZEB化

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
4	2	27	25	65	29
2.6%	1.3%	17.8%	16.4%	42.8%	19.1%

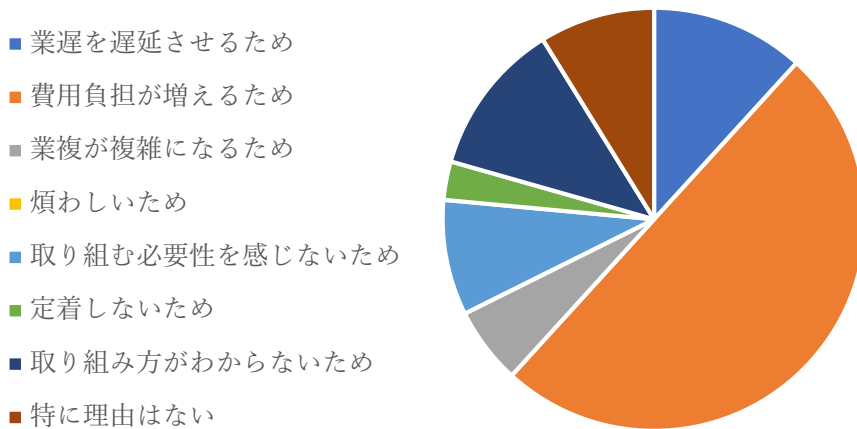
問15-29 建物のZEB化



(29-1) 現在取り組めない理由

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
4	17	2	0	3	1	4	3
11.8%	50.0%	5.9%	0%	8.8%	2.9%	11.8%	8.8%

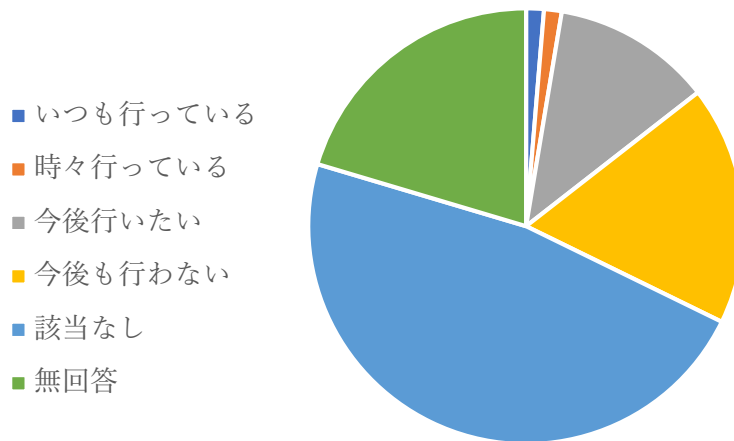
(15-29)現在取り組めない理由



(30) BEMSの導入

いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	該当なし	無回答
2	2	18	27	72	31
1.3%	1.3%	11.8%	17.8%	47.4%	20.4%

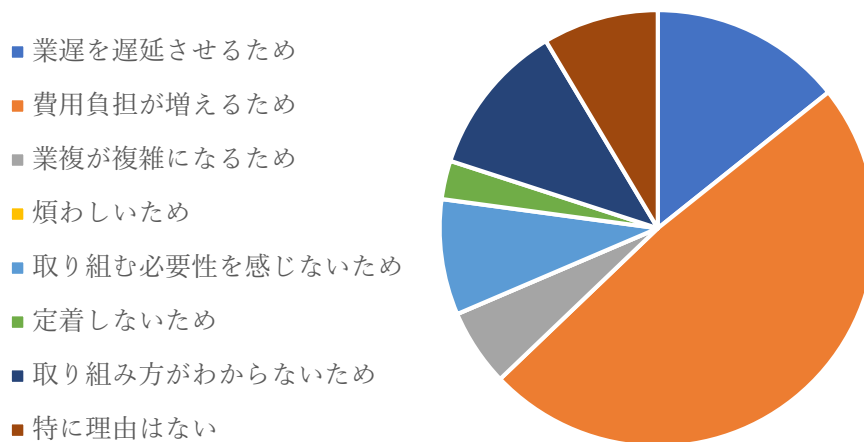
問15-30 BEMSの導入



(30—現在取り組めない理由)

業務を遅延させるため	費用負担が増えるため	業務が複雑になるため	煩わしいため	取り組む必要性を感じないため	定着しないため	取り組み方がわからないため	特に理由はない
5	17	2	0	3	1	4	3
14.3%	48.6%	5.7%	0%	8.6%	2.9%	11.4%	8.6%

(15-30)現在取り組めない理由



問 15 自由意見（事業所で行っている温暖化対策、今後取り組もうと考えていること）

【現在行っている温暖化対策】

- 作業所の電燈を半分消灯
- 資材利用で廃材を無償提供。多くの方がキャンプで利用してくれている
- プラスチック包装資材の減少
- プラスチックごみを減らすため、値段は高くなるがエコなものを仕入れている
- 牛乳パックは洗浄してリサイクルセンターへ
- 晴天時、イートインスペース等を消灯
- 冷蔵庫のフィルターのこまめな清掃
- 店内の電気を50～80%に調整。また、LEDへの変更
- すだれやカーテンを利用して直射日光を遮光

【今後取り組もうと考えていること】

- フロン使用の冷凍庫、灯油使用の乾燥機の改善または入替え
- 将来的に子ども達へ正しい知識を伝えるため、具体的にもっと何をすればよいか知りたい

問 16 地球温暖化対策を進めるうえで有効な施策だと思えるものをお選びください。

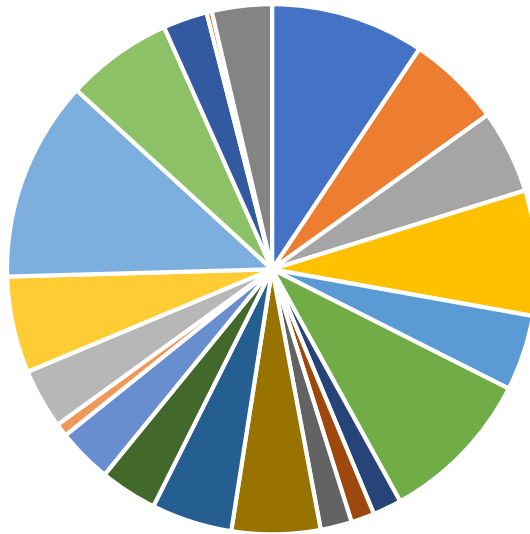
(複数選択可)

1.学校や地域への環境学習の充実	2.住民向け環境講座やイベント等の実施	3.事業者向けの研修や講演会を開催する	4.広報やホームページなどにおいて地球温暖化に関する情報を提供する	5.事業者向けの地球温暖化に関する冊子やパンフレットを製作・配布する	6.地球温暖化対策に関する支援制度(補助金など)の情報を提供する	7.事業者の地球温暖化への取り組みを評価し、表彰する制度を作る	8.事業者の優秀な取り組みの内容をWEB等で表彰する	9.資材や商品を共同で配送する仕組みづくり	10.環境に配慮した製品の開発、製造、販売
59	36	32	48	29	60	11	9	12	34
9.7%	5.9%	5.3%	7.9%	4.8%	9.9%	1.8%	1.5%	2.0%	5.6%

11.太陽光発電など再生可能エネルギー利用設備の導入	12.省エネ機器などの導入や省エネ回収の実施	13.省エネ活動などについての事業者、業界ごとに自主的に取り組む	14.BEMS、FEMS(エネルギー使用の見える化)の導入	15.緑地の保全や整備を推進する	16.エコドライブの心がけや次世代自動車の導入	17.ごみの削減やリサイクルの推進	18.地産地消を推進する	19.地球環境の保全・再生のために活動している団体等への支援	20.その他
31	22	21	5	23	37	77	41	17	2
5.1%	3.6%	3.5%	0.8%	3.8%	6.1%	12.7%	6.8%	2.8%	0.3%

無回答
23
3.8%

問16 温暖化対策を進めるうえで有効な施策



- 1.学校や地域への環境学習の充実
- 2.住民向け環境講座やイベント等の実施
- 3.事業者向けの研修や講演会を開催する
- 4.広報やホームページなどにおいて地球温暖化に関する情報を提供する
- 5.事業者向けの地球温暖化に関する冊子やパンフレットを作製・配布する
- 6.地球温暖化対策に関する支援制度（補助金など）の情報を提供する
- 7.事業者の地球温暖化への取り組みを評価し、表彰する制度を作る
- 8.事業者の優秀な取り組みの内容をWEB等で表彰する
- 9.資材や商品を共同で配送する仕組みづくり
- 10.環境に配慮した製品の開発、製造、販売
- 11.太陽光発電など再生可能エネルギー利用設備の導入
- 12.省エネ機器などの導入や省エネ回収の実施
- 13.省エネ活動などについての事業者、業界ごとに自主的に取り組む
- 14.BEMS、FEMS（エネルギー使用の見える化）の導入
- 15.緑地の保全や整備を推進する
- 16.エコドライブの心がけや次世代自動車の導入
- 17.ごみの削減やリサイクルの推進
- 18.地産地消を推進する
- 19.地球環境の保全・再生のために活動している団体等への支援
- 20.その他
- 無回答

（その他）

- 法令での義務化、罰則規定
- 各個人の心がけ次第

【一般アンケート自由意見】（本計画及び環境行政に関するものから抜粋）

- ・日頃より関心のある内容⇒再生可能エネルギーによる発電（60代・女性）
- ・年々暑くなり、冷暖房代が増えてくるので補助してほしいし、また、家庭でも省エネを購入する際の補助をお願いしたい。住みよい町なので、このまま環境維持できる町であってほしい。（10～20代・男性）
- ・最近、住宅地や農地の間近に空き地があればと太陽光発電用のソーラーパネルの設置が目立ちます。生活や自然環境を損なわないような設置を。（70代・女性）
- ・温暖化の怖さを酷暑や豪雨で身を感じるようになってきましたが、どのようにすれば歯止めがかけられるのか教育してほしい。誰でも実行できることを具体的に推奨してもらえたら有り難い。（60代・女性）
- ・植林をするときにスギ、ヒノキなどしないで、落葉樹を植えるようにする。ブナ、しらかば、どんぐりなど保水が良いものを植えるようにする。（70代・女性）
- ・今の夏もかつらぎ町は和歌山県内で最高気温を記録していたので、気温を下げ、エアコンの使用が節電できたらと思う（関電は7月より深夜電力代が上昇した）
豪雨、土砂災害を未然に防げるように出来たらと思う。
南海トラフに対し、家屋の耐震化、空き家の減少をして安全なかつらぎ町に出来ていったらと思う。
町民の健康意識の向上を通じて医療費削減出来たら、その分防災減災に財政支出できるのではないかと思う。（60代・男性）
- ・環境先進国のEU（特にドイツ）のように、ECO（再利用製品を含む）を徹底すべきと思います。（50代・男性）
- ・二酸化炭素の排出を減らすことは必要であるが、またそれを吸収する森林がありますが、各家庭での植物の植え付けた方に植栽面積に応じて国・町からの補助金制度を設けて脱炭素に寄与する。（70代・男性）
- ・カーシェアリングのできる場所をつくってほしい。近くのカーディーラーを見ていると中古車が置いてあるので、それらでシェアリングできたら良いなと思いました。中古車を使い続けることで新車購入をしなくて済むので、新しく材料（炭素材料等）の使用を削減できるのと、皆さん車を持っていても使わないときがあるので、動いていない車を有効利用できる。もしくは乗り合いタクシーのような取り組みをしてほしい。（年齢・性別不明）
- ・24時間営業のコンビニや流通・工場など、日本の経済活動では必要であるとは思われるが、環境や人間の体内リズム正常化から考えると、昔の時間内での活動が望ましいが、それが無理であるならば、年に何回、半年に何回、1か月に何回、と停止する時間も設定することはできないだろうか？
牛のげっぷが濃度の高いCO₂であるとの報道があり驚いた。そんなところにまで注目しているのかと思う反面、少しでもCO₂を削減しようとする研究者の努力を感じること

からも、私たちは資源の循環を目指し、取り組んでいくことが大事だと思う。(50代・女性)

・移住者(町の人口増もしくは少子化対策)のためのプロジェクトと、温暖化、エネルギー問題、自然環境問題(害獣など)を絡めて町の特色を出していくのが一石二鳥でよいと思った。町だけで作るのが難しいなら、他の市町村と提携するのも良いかもしれない。

(30代・男性)

・最近、山のあちこちに枯れた木が混じっている景色をよく見かけます。何が原因なのか、何か対策はあるのか、どんどん山が枯木になるのではないかと心配しています。

かつらぎ町は発展した町ではなく自然豊かな町であり続けてほしいと思います。(10~20代・性別不明)

・人間生きるためには水が一番重要な問題、未来に十分な水源確保と十分な設備を残してほしい。(70代・女性)

・太陽光発電には疑問がある。

夜間に稼働しないのはもちろんながら、天候に左右され電力の生産に大きな増減がある。電力は安定した供給が必要なため、その対応に発電所(火力)への負担が大きい。

もともと緑であった土地をつぶす。植物の蒸散による気温の上昇の抑制は損なわれ、反対に太陽熱をため込む。また、立地によっては土砂災害も心配される。

発電機使用期限後の廃棄処分に手間がかかる。また、その生産に要するエネルギーも大きいと聞く。

主な生産国での生産体制に疑問がある。人権、環境ともに守られているのであろうか。

事業者の収入は消費者が負担し、結果タコが自分の足を食っているだけの事ではないのか?

緑の多い当町としては、植林された山の間伐等、管理を徹底して土砂災害を防止し、出来うるところから漸次自然林に戻して温暖化に処するべきと考える。(60代・男性)

・ゼロウェイストグッズの積極的な販売など、エコを楽しむような町づくりが出来れば、子どもや他府県民を巻き込んで町の魅力がUPすると思います。(10~20代・女性)

・リサイクルの徹底(70代・男性)

・プラスチックごみの捨て方について・・・ラベルがついていたり、液体が入っていたりしたもの(洗剤等)とかは燃えるゴミでいいと思っているのですが、かなりあいまいなので今一度、プラスチックごみで捨てるもの一覧を作り直してほしいです。(40代・女性)

・国がやっていることは根本的な対策になっていない。温暖化ガスを減らすと言いながら、回収し、別の形にし、保存する等の数字合わせの政策で、唯一減らすことのできる農家による環境維持を進める必要があると思う。(50代・男性)

・休耕地に太陽光パネルを設置することは自然のリズムを変えてしまうと思う。特に山の斜面などに設置すると保水力が低下し、大雨時に土砂災害を心配します。(30代・男性)

- ・木々を切り捨てし、これを燃やす等々の事、家の取り壊しの引取り処分もやってほしい。(燃えるゴミでも引き取り出来ないものを町が処分できるようにしてほしい)(80代以上・男性)
- ・家庭での生ごみ処理がさほど普及しているように思われないので、補助率のアップ等検討していただけたらと思います。(70代・男性)
- ・メタンハイドレート等の海底地下資源の利用等について、地方自治体として、国に積極的に訴えるべきだと思う。(70代・男性)
- ・町のごみ袋が高い。大きさが中途半端。もう少し大きい袋が欲しいです。(70代・男性)
- ・町の美化運動の推進を広げてほしい。道路にごみが多すぎる。各自治体でごみ拾いをしてほしい。(80代以上・男性)
- ・一部スーパーなど、袋を有料化しているが全店が実施すべきである。川、山林、道路などのごみの捨てる量が多すぎる。もっと、ごみをこのままにすればどうなるか伝えるべきだ。(60代・女性)
- ・本町は山間部が多く、森林関係の仕事(間伐)が大切と思われれます。今後、土砂災害等を防ぐため、行政として推進してほしい。最近空き家が多く見られるようになりました。防犯、環境問題等鑑み、対応されますよう。(70代・男性)
- ・太陽光発電に関しては、優良な土地(農地)への設置や、山林斜面への設置は反対です。家庭の屋根に設置することで、自然を壊すことなく、また災害時の自家発電で停電の時も個別に補えるのでおすすめかと。

日頃思うのは、粗品としていただく品でボールペン等はインクを使い切らないのにすぐ書けなくなるものや、すぐ見向きもしなくなるおもちゃなど、ごみが増えるだけなのに、たくさんの労力とプラスチック等が無駄になると思っています。昔の製品ほど長持ちしなくなった電化製品で粗大ごみも増えていると感じます。

町行政ではできることは限られますが、やはり一番最初に書いた山林斜面や平地の農地での太陽光パネルは認めないで保全してほしいです。(60代・女性)

・議会だよりの記事より、貴町が進める森林整備計画として、広口、平地区の約222haについて間伐木材をペレット化して発電などに利用する等の管理が行われる旨を拝見しております。

上記の取り組みは針葉樹を中心とした人工林を対象としてのものですが、現状は雑木林となっている山林について、ここ数年、コナラ、クヌギなどの”ナラ枯れ”が急増し、京奈和道の車窓から周囲の山を見渡すと、紅葉の時期でもないのに既に多数の樹木が枯死しているのをご存じかと思えます。

ナラ枯れの原因について現代農業2022年7月号に特集記事がありましたので同封いたしますが、主な原因は1950年代以降プロパン、電気の普及により広葉樹を薪として利用しなくなったため、幹の直径が50cmを超えるような大木が増加し、カシナガというナラ枯れの病原菌を媒介する昆虫が繁殖しやすい状態となっていることが原因と書かれています。

概ね 20~30 年に一度は伐採を行い、利用していた時代には少なかったナラ枯れが急増する原因が、温暖化や酸性雨のような環境変化ではなく、木材を利用しなくなったためだ、という点は非常に興味深いと思います。

もし、木質バイオマスに雑木林の広葉樹が利用できないようであれば、国や県への働き掛けもご検討いただき、里山の保全という意味でも、木材の有効活用をお願いいたします。(80 代以上・男性)

・ごみについて、戸別用の緑のコンテナは集合住宅での利用は難しい。ほかの方法を考えてほしい。

和歌山は、山はあってもほぼ杉、檜。果樹も山深くまで。自然林への回帰、再生も検討してほしい。(50 代・男性)

・SDGs の取り組みを町民へ分かりやすく発信してほしい。(40 代・女性)

・エコ設備をしている世帯への助成及び減税等を考えてほしい。(60 代・男性)

・一般の環境意識向上のためにも太陽光発電導入補助や、次世代自動車導入補助は知るきっかけともなり、有用だと思います。自分の生活やお金の事象に直結することほど人はよく動くと思うので。(30 代・女性)

・環境問題に行政から色々と情報を発信してください。町民が環境問題に関心を持つようになると思う。(70 代・男性)

・問 6 に挙げている項目は全て当てはまることだと思います。暑い日が、年々期間が長くなっていて、将来は冬がとても短いものになる様なおそろしい気がします。よくニュースで、「我慢せずクーラーをつけてください」と言っていますが、それには必ず電気代と関係してきます。使用することなので支払うことは当たり前なのですが、何か補助してもらえない方法はないものかと。

かつらぎ町は町民にとってもよくしてくれて、「痒い所に手が届く」行政をしていてくれると思います。ありがとうございます。(50 代・女性)

・地球温暖化に対して、自分自身に関わってくる問題意識を全員が持つために、日頃から学校教育や広報活動でも幅広く啓発を進めてほしい。

小さなことでも、身近な具体例での説明等や一人ひとりが心がけることで環境を守ることにつながっていくと実感できるような自治体の活動をしてほしい。(60 代・女性)

・町内はもちろん、近隣の市に直行できるバスがないため、つい車を利用してしまいます。環境問題も気になりますが、これから高齢者の仲間入りをする年齢ですので、車を運転できなくなれば、移動にたちまち困ってしまうなど今から心配しています。

スプレー缶はなるべく買わない、エアコンの温度高め、エコバッグの利用など、個人でできることは頑張っています。(50 代・女性)

・私は見ていませんが、母が言うことには、不燃物やプラごみの出し方(分類の仕方)が間違えている人がかなりいるとのこと。母自身も完璧にできているかどうか自信がないとも言っていました。(10~20 代・女性)

・ごみの不法投棄や、路上駐車の上、ごみを捨てていく人を厳しく取り締まっていただきたいです。せっかく農業が盛んな豊かな土地であるのに、美しい環境への意識が低いことがとても残念です。

持続可能な町を維持していくためには、食べ物だけに限らず自給自足が大変重要だと思いますので、農業を中心とした町内での循環に取り組んでいただきたいです。特に、保・小・中で自給自足の大切さを学べる教育に期待したいです。(30代・女性)

・「異常気象」だけでは済まされないと思います。あなた任せではなく、一人ひとりが心がけなければいけないと思います。例えば、ティッシュペーパーは2枚重ねになっているので、必要に応じて1枚だけ使ったり、レンジクリーナーは幅が広いので半分に切って使ったりしています。洗濯機は3日に一度使って、他の日はお風呂の残り湯を使って、手で洗濯しています。暑い日は庭木に水やりをして(井戸水があるので)暑さをしのいでいます。夜は、1階は戸締りをしているので、2階は窓を開けて自然の風を取り入れています。

家にいるときは開けっ放しにして扇風機を活用して、エアコンは使わないようにしています。買い物に行って「早い目にお召し上がりください」と書かれたものは、買って帰って早めに調理しています。ビニール袋はマイバッグを持参しているので、余った分はお店へお返ししています。メモ用紙は広告の裏の白いのを利用しています。

家庭菜園をしているので、朝夕の水やりや草引きは大変ですが新鮮な野菜をいただけて、人さまにもお裾分けして喜ばれています。家の周囲の道の草は気付いたら草引きをして、人さまが通りやすいように気を付けています。

妙寺保育園は孫たちがお世話になったので、傍を通るとさびしい気がします。何とか有効活用出来ないものでしょうか。(70代・女性)

・日頃からの環境政策への取り組み、誠にご苦勞様です。私としましては、カーボンニュートラル政策の推進には疑問を持っております。もちろん、節電やごみのリサイクルなどの資源の節約・有効利用は大事ですし、自然災害に備えること、自然環境保護のための取り組みも大切だと思います。しかしながら、CO2 地球温暖化説や温暖化脅威論に関しては、日本や世界における複数の学者が異論を唱えたり、その説の矛盾を指摘したりしており、あくまでも仮説の一つにすぎません。学者によっては、今後地球が逆に寒冷化する可能性を指摘している人物もいます。そのような中で、CO2 削減政策を急速に推進すれば、国内の産業が大きな打撃を受け、電力供給が不安定化し、エネルギー安全保障にも負の影響が出る可能性が考えられます。また、現在発売されているEV車は、ガソリン車に比べて大雪に弱い点があるので、町の公用車をすべてEV化することは思い留まられたほうが良いと思います。以上の点により、町としては政府の環境政策に全て従うのではなく、経済・産業の維持・発展という観点も踏まえて政策を考えられることが望ましいと思います。(10~20代・男性)

・ごみ分別の際に、プラスチック製品がプラゴミなのか、硬質プラで不燃物になるのかが分かりづらい。(60代・女性)

・可燃物の袋を無料にしてほしい。(70代・男性)

・農林業が盛んであるかつらぎ町にとって、バイオエネルギーは比較的取り組みやすいのではないのでしょうか。(60代・男性)

・町民が実感できる目に見えるような政策をして欲しい。(10~20代・男性)

【事業所アンケート自由意見】（本計画及び環境行政に関するものから抜粋）

・役所での申請書類等の許可の受け取り等を郵送等に切り替えればガソリン等を減らすことが多大である。申請等も Web 対応できればなおさら。上記の事が一番早くできるのでは？

役場の建物が古く、省エネになっていない。手本となるべき！！企業に勧めるのであれば、改修工事するべきでは？（建設業）

・経済活動と環境への負荷は深く関係があり、経済活動が活発になると環境への負荷は増え、環境への負荷を減らそうとすると経済活動への負荷が高まり阻害されるという現実があります。そのため、バランスを考え経済活動への影響を少なくする範囲での環境対策をする必要があると思います。

ごみのポイ捨てや不法投棄等をなくすなどの取り組みが環境対策や町の美化にも繋がるので良いと思います。つきましては行政として様々なごみの収集や処分についてのサービスに力を入れていただくことが町の美化・環境につながり、ごみを排出する町民や事業者を助けることになるかと思います。（サービス業）

・この間テレビで廃油で動く自動車を使っている会社を見ました。家で捨てたり、店屋さんで余って捨てている廃油等をおつらぎ町の役場に集めて捨てる（使う）ところがあったらいいと思いました。個人個人だったら捨てるだけです。役場へ持って行って集めたら廃棄しないで使えますと思います。

使い捨てカイロも集めて水の浄化に使っていましたが、個人個人だとごみ捨てですが、一種類を集めたら全部使えてエコになります。役場に持って行って集める。そんなところが欲しいです。（卸売・小売業・飲食店）

・環境問題と地球温暖化の問題とを分けて考える必要がある。

まず環境の問題では町民がよりよい環境の下で生活できるようにインフラの整備や災害時の備えをすることは大切だと思います。もちろん、消費電力などを抑えるのは経費の削減の視点からは大いに推奨されることだとも思います。冷房はともかく暖房については電気をガスや灯油に代えると経費の削減につながります。

それと地球温暖化とは何の関係もない。今、大気中の CO2 は 0.04% で、その内訳は自然界が出している CO2 は総排出量の 90%~93% で、人類が出している CO2 はほんのわずかである。そんなものが地球を温暖化させるとはとても思えない。また、いま日本が出している CO2 は世界の中では少しでしかない。

まずは人間第一。温暖化の名のもとに住民の生活が毀損されてはいけません。（製造業）

・電気自動車の充電設備を各地区に 1 カ所ぐらい作ってほしい。（農林水産業）

・他町よりごみ・不要物の回収が細やかにしてくれているようで、うれしくいつも思っています。

家庭ごみの件ですが、カラス対策で困っています。ブルーネット、黒いシート、おどし等で追い払いを皆で工夫をしているのですが。（製造業）

- 農業用資材の廃棄物の収集無料化（農林水産業）
- 農業用水に小水力発電を設置し、分担金の負担を減らしてほしい。（農林水産業）